平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事

図　面　目　録

図　番	図面名称（建築工事）	図　番	図面名称（建築工事）
D－001	表紙・図面目録		
D－002	建築工事特記仕様書(1)	電気設備	
D－003	建築工事特記仕様書(2)	E－001	電気設備工事特記仕様書
D－004	建築工事特記仕様書(3)	E－002	盤図・姿図
D－005	建築工事特記仕様書(4)	E－003	幹線・弱電設備図
D－006	配置案内図・建物概要	E－004	電灯設備図
D－007	法規チェックリスト	E－005	コンセント設備図
D－008	仕上表		
D－009	１階平面図		
D－010	立面図		
D－011	断面図		
D－012	矩計図(1)		
D－013	矩計図(2)		
D－014	展開図(1)		
D－015	展開図(2)		
D－016	展開図(3)		
D－017	内部一般図・詳細図(1)		
D－018	内部一般図・詳細図(2)		
D－019	天井伏図		
D－020	建具表(1)		
D－021	建具表(2)		
D－022	外構平面図・詳細図(1)		
D－023	外構平面図・詳細図(2)	機械設備	
		M－001	外構配管図・凡例・桝リスト
		M－002	機器表
		M－003	衛生設備平面図
構 造 図		M－004	換気設備平面図
W－001	基礎伏図	M－005	暖房設備平面図
W－002	１階床伏図		
W－003	梁伏図		
W－004	小屋伏図		
			計　３７枚

特 記 事 項	工 事 名 称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検 図	製 図			管 理 番 号
	平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	表紙・図面目録	no scale ※A3は50%縮小	2008.09.25			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO D —— 001

図面ファイル名：D001～005新営建築表紙特記(圧縮版)　　最終保存日時：2008/09/25 19:43:57　　プリンタ出力：2008. 9.26

1．工事概要

a	工事名称	平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
b	工事場所	長野県上伊那郡箕輪町1877-4（1877-1から分筆）
c	工事種目	⊙新築　・増築　・改修　・その他（　　　）
d	工事期間	・着工 2008 年 10 月 下 日　完成 2008 年 2 月 末 日
e	工事範囲	建築工事・外構工事・電気設備工事・機械設備工事
f	別途工事	
g	面　　積	敷地面積：　　m2　建築面積：　　m2　延べ面積：　　m2
h	建物高さ	軒高：　　m　最高部高さ：　　m
i	階　　数	地下　階・地上 1 階・塔屋　階
j	地業・構造	地業：　　構造：　木造

2．仕様書の適用

a　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（以下「標準仕様書」という。）の最新版（H19年版）による。

b　各工事において、他の工事と関連ある事項はそれぞれの特記仕様書および標準仕様書（機械設備工事、電気設備工事）による。

c　「標仕」用語の「監督職員」は民間（旧四会）連合協定「工事請負契約約款」の監理者と同義語とする。

d　本特記仕様書および「標準仕様書」に記載されていない基準等については、（社）日本建築学会「建築工事標準仕様書」の最新版に準拠する。

3．特記仕様書の取扱い

a　項目は番号に○印の付いたものを適用する。

b　特記事項は⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

c　特記事項に記載の（　．　．）内の表示番号は「標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

d　品質性能上、製造者名を記入する場合は五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。（　）内は製品名を示す。

4．発注方式

a　各工事の発注区分および工事範囲

区分／工事名	発注区分番号 1	2	3	4	5	6	7	工事範囲 分割工事等
建　築								・一式　・
電気設備								・一式　・
空調設備								・一式　・
衛生設備								・一式　・
昇降機設備								・一式　・

・縦の同列に○印のあるものを同じ発注区分とする

b　コストオンとなる工事（工事の種類と発注区分）

⊙無　　・有（　　　　　　　）

c　本工事期間内に行われる別途工事の種類

・無　　⊙有（　備品工事　　　　）

5．見積項目および工事範囲

見積項目および工事範囲は下記の○印による。

見積区分	工事項目	本工事	別途工事
建　築	仮　設	○	
	土　工	○	
	地　業	○	
	躯　体	○	
	外　装	○	
	内　装	○	
外　構	舗　装	○	
	排　水	○	
	植　栽	○	
	~~門・塀~~		
	~~付属建屋~~		
	駐車場関連	○	
電気設備	受変電設備	○	
	~~自家発設備~~		
	~~無停電電源設備~~		
	~~中央監視設備~~		
	接地工事	○	
	幹線設備	○	
	動力設備	○	
	照明・コンセント設備	○	
	~~航空機障害灯設備~~		
	~~パネルヒーティング設備~~		
	電話設備	○	
	~~構内情報通信網設備~~		
	~~放送設備~~		
	映像・音響設備	○	
	~~出退・情報表示設備~~		
	~~電気時計設備~~		
	インターホン設備	○	
	TV・ラジオ共同受信設備	○	
	~~監視カメラ設備~~		
	~~機械警備設備~~		
	~~入退館管理設備~~		
	~~駐車場管制設備~~		
	自動火災報知設備	○	
	~~避雷設備~~		

見積区分	工事項目	本工事	別途工事
空調設備	~~熱源機器設備~~		
	空気調和設備（機器、ダクト、配管他）	○	
	換気設備（機器、ダクト他）	○	
	~~排煙設備（機器、ダクト他）~~		
	~~自動制御設備~~		
衛生設備	衛生器具設備	○	
	給水設備	○	
	排水設備	○	
	給湯設備	○	
	~~ガス設備~~		
	~~消火設備~~		
	~~厨房機器設備~~		
	~~し尿浄化槽設備~~		
	~~散水設備~~		
	~~さく井設備~~		
昇降機設備	~~エレベーター設備~~		
	~~エスカレーター設備~~		
	~~ダムウェーター設備~~		
	~~カーリフト設備~~		
特殊設備	~~機械式駐車設備~~		
	~~ゴンドラ設備~~		
	~~搬送設備~~		
	~~ゴミ処理設備~~		
敷地造成	~~敷地造成~~		
	~~整地~~		
解体・撤去	~~解体・撤去~~		
	~~埋設物撤去~~		
	~~工作物撤去~~		

6．工事区分表

設計図によるほか、下記の⊙印および○印を工事区分（見積区分）とする。疑義を生じた場合は質問回答書により確認すること。

	工事項目	建築（昇降機）	電気	機械（空調・衛生）	別途	備考
1	**共通事項**					
1	工事上の各種申請届出費用	⊙	⊙	⊙		関連工事別
2	工事用電力・上下水道引込工事	⊙				
3	工事用電力・上下水道料金（引込負担金・基本料金含む）	⊙	⊙	⊙		使用工事別
4	本設電力引込工事		⊙			引込負担金は別途
5	本設上水引込工事			⊙		引込負担金は別途
6	本設下水引込工事			⊙		引込負担金は別途
~~7~~	~~本設ガス引込工事~~			・		~~引込負担金は別途~~
8	本設受電後引渡しまでの電力基本料金	⊙	・	・		試運転用も含む
9	本設後引渡しまでの上水基本料金	⊙	・	・		試運転用も含む
10	本設後引渡しまでの下水基本料金	⊙	・	・		試運転用も含む
~~11~~	~~本設後引渡しまでのガス基本料金~~	・	・	・		~~試運転用も含む~~
12	本設受電後引渡しまでの電力・上下水道・ガス使用料金	⊙	・	・		関連工事別 試運転用も含む
13	電話本設引込工事		⊙			引込負担金は別途
~~14~~	~~既存上下水道・ガス管の撤去・同手続き~~			・		
~~15~~	~~工事施工に関する電波障害調査~~	・				
~~16~~	~~工事施工に関する電波障害対策工事~~	・				
~~**2**~~	~~**機械基礎**~~					
~~1~~	~~機械基礎~~	・				
~~2~~	~~同上アンカーボルト・箱入れ・埋込み~~	・	・	・		~~関連工事別~~
3	**躯体貫通**					
~~1~~	~~地中梁の連通管・通気管・人通孔・補強~~	・				
~~2~~	~~S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強~~	・				
~~3~~	~~RC造梁貫通スリーブ~~	・	・	・		~~関連工事別~~
~~4~~	~~同上補強（100mmφを超えるもの）~~	・				
5	床・壁の貫通スリーブ・箱入れ	⊙	⊙	⊙		関連工事別
6	同上補強（長辺150mm角を超えるもの）	⊙	○	⊙		
7	各種貫通穴あけ個所の穴うめ・補修	⊙	⊙	⊙		関連工事別
4	**躯体以外の開口・貫通**					
~~1~~	~~（工場製作間仕切壁）開口・取付枠・補強~~	・				
2	（現場製作間仕切壁）開口・取付枠・補強	⊙	⊙	⊙		関連工事別
3	間仕切壁開口部の穴うめ・補修	⊙	⊙	⊙		関連工事別
4	天井付各種器具の開口・取付枠・補強	⊙				
5	壁・床の直付各種器具取付枠・補強	⊙	⊙	⊙		関連工事別
6	ブロック・れんがの設備機器取付用開口・取付枠・補強	⊙				
7	ALCパネル・押出成型セメント板・PCパネルの壁開口・補強	⊙				
5	**点検口・ガラリ**					
~~1~~	~~外壁外付ガラリ~~	・		・		
~~2~~	~~同上接続用アングル・防鳥ネット~~	・		・		
3	レターンガラリ	⊙		⊙		図示による
4	ドアガラリ	⊙				
5	点検口（天井・床）	⊙				
6	**排水工事**					
1	屋内・敷地内雨水排水工事	⊙		・		
2	敷地内汚水排水工事	・		⊙		図示による
3	屋内汚水排水工事			⊙		
~~4~~	~~敷地外本管への接続~~	・		・		~~最終会所ます以降図示~~
~~5~~	~~RC造オイル・グリーストラップ一式~~	・				
~~6~~	~~オイル・グリーストラップ（既製品）~~	・		・		~~図示による~~
7	**便所・浴室・湯沸し室など**					
1	浴槽・ユニットバス・ユニットトイレ ~~・ユニットシャワー・洗濯機パン~~ シャワーカーテン	・				~~付属品一式含む~~
~~2~~	~~同上ダクト工事~~			・		
~~3~~	~~同上一次側電気配管配線~~		・			
~~4~~	~~同上給排水管接続~~			・		
5	流し台・吊戸棚・フード・洗面化粧台	・		○		ライニングのみ建築工事
6	同上給排水管接続			⊙		
7	フードへのダクト接続			⊙		
8	陶製流し			⊙		450x600以下は衛生
~~9~~	~~電気湯沸し器（配管接続とも）~~			・		
10	同上一次側電気配管配線		⊙			
~~11~~	~~大型化粧鏡~~	・				
12	車椅子便所の鏡・手摺	・		⊙		
8	**ピット・マンホール・各種槽など**					
~~1~~	~~電気室・発電機室・機械室・厨房のピット・ふた~~	・				
~~2~~	~~湧水・汚水ピット・RC造各種水槽~~	・				
~~3~~	~~同上用防水・マンホール・タラップ一式~~	・				
~~4~~	~~液面電極棒取付座~~		・	・		~~関連工事別~~
~~5~~	~~各種満減水警報・液面電極棒取付け~~		・			
~~6~~	~~同上電気配管配線~~		・			
~~7~~	~~同上オーバーフロー・通気管取付け~~			・		
~~8~~	~~埋設オイルタンク・トレンチの躯体・防水~~	・				~~砂詰めとも~~
~~9~~	~~同上用本体注油口・他付属品一式~~		・	・		~~関連工事別~~
~~10~~	~~屋内マンホールの躯体・鋳鉄ふた・化粧ふた~~	・				
~~11~~	~~屋内マンホールの躯体・鋳鉄ふた~~	・	・	・		~~関連工事別~~
~~12~~	~~屋内マンホールの躯体・化粧ふた~~	・		・		~~図示による~~
~~13~~	~~トレンチの躯体・排水溝・仕上げ~~	・				
~~14~~	~~同上設備配管類の架台~~		・	・		~~関連工事別~~
9	**設備関連工事など**					
1	電動機・同据付			⊙		関連工事別
2	一般制御盤・電動機端子までの電気配管配線		⊙	⊙		
3	機器附属制御盤・二次側電気配管配線		⊙	⊙		関連工事別
4	各種機器の接地工事（冷凍機・ボイラー・パッケージ・ポンプユニット含む）		⊙			
~~5~~	~~冷凍機・ボイラー・パッケージなどの遠隔操作用・故障警報用リレー端子の取付け~~			・		関連工事別
~~6~~	~~同上より監視盤までの電気配管配線~~		・			
~~7~~	~~空調用自動制御器・自動制御盤・同取付調整~~			・		
~~8~~	~~同上間の電気配管配線~~			・		
~~9~~	~~空調用自動制御盤への電源送り~~		・			
~~10~~	~~同上より中央監視盤までの電気配管配線（含、親局・子局伝送装置）~~		・			
11	ガス漏れ警報器・受信盤・同電気配管配線		⊙			
~~12~~	~~ガス緊急遮断弁~~			・		
~~13~~	~~同上用受信盤・電気配管配線~~		・			
~~14~~	~~機械警備用センサー・同配線~~				・	
~~15~~	~~同上用配管~~		・			
~~16~~	~~機械警備監視盤~~				・	
~~17~~	~~センサー取付用裏箱（扉・枠とも）~~	・	・	・		
~~18~~	~~床置型ファンコイルユニット・ラジエーター本体~~			・		
~~19~~	~~同上用化粧カバー・吹出し口・スイッチふた~~	・		・		~~図示による~~
20	電話用配管・端子盤		⊙			
21	同上配線・端子		⊙		・	
~~22~~	~~MDF・PBX・電話機~~		・		・	
23	ウェザーカバー・ベントキャップ	・		⊙		図示による
10	**防災消火設備など**					
~~1~~	~~消火器ボックス~~			・		
~~2~~	~~同上起動用押しボタン・表示灯・電話~~		・			
~~3~~	~~消火ポンプ制御盤（起動リレーとも）~~			・		
~~4~~	~~同上制御盤までの一次側配管配線~~		・			
~~5~~	~~同上以降の二次側配管配線結線~~			・		
~~6~~	~~二酸化炭素消火用機器・同取付け~~			・		
~~7~~	~~同上用制御盤・電気配管配線~~		・			
~~8~~	~~同上用制御盤への電源送り~~		・			
~~9~~	~~同上より火災受信盤・制御盤までの電気配管配線~~		・			
~~10~~	~~スプリンクラー・泡消火起動用圧力スイッチ~~			・		
~~11~~	~~同上制御盤（ポンプユニット）~~			・		
~~12~~	~~同上用電源工事~~		・			
~~13~~	~~給気ダンパー・同開放装置~~			・		
~~14~~	~~同上用化粧ガラリ~~	・		・		
~~15~~	~~給気ダンパー・排煙口連動装置~~		・	・		
~~16~~	~~防災監視盤までの配管配線~~		・			
~~17~~	~~排煙窓手動開放装置リミットスイッチ~~	・				
~~18~~	~~同上より防災監視盤までの配管配線結線~~		・			
11	**防火戸など**					
1	防火戸・防火シャッター・防火防炎シャッター ~~・可動式防炎垂れ幕・建具・附属金物・自動開鎖~~ （開放）装置・作動確認スイッチ・操作スイッチ	・				
~~2~~	~~同上連動制御盤・電源・予備電源・煙感知器・上記機器間防災盤までの電気配管配線~~		・			
~~3~~	~~シャッター操作ボタン・マグネットスイッチ間の二次側配管配線結線~~	・				
~~4~~	~~防火区画・排煙区画貫通部処理~~	・	・	・		~~関連工事別~~
12	**自動扉**					
~~1~~	~~駆動装置・感知装置~~	・				
~~2~~	~~同上配管配線~~	・	・			
~~3~~	~~同上電源用一次側配管配線~~		・			
~~**13**~~	~~**昇降機設備**~~					
~~1~~	~~昇降路・機械室の築造~~	・				
~~2~~	~~機械室の床開口・補強~~	・				
~~3~~	~~機械室の床配線ピット・ふた~~	・				
~~4~~	~~機械室の上げ床コンクリート打設・仕上げ~~	・				
~~5~~	~~巻揚機周囲のチェッカープレート敷~~	・				
~~6~~	~~昇降路内ピット防水・集水ます・点検用タラップ~~	・				
~~7~~	~~各階出入口穴あけ・同補強~~	・				
~~8~~	~~出入口三方枠取付用下地鉄骨設置~~	・				~~S造の場合~~
~~9~~	~~出入り口扉・三方枠~~	・				
~~10~~	~~三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強~~	・				
~~11~~	~~軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鋼製部材一式~~	・				
~~12~~	~~機械室天井フック取付~~	・				
~~13~~	~~ホール押しボタン・インジケーター鋼索などのコンクリート穴あけ~~	・				
~~14~~	~~昇降路・ピット内保守用コンセント~~		・			
~~15~~	~~機械室電源盤への一次側電気工事~~		・			
~~16~~	~~機械室電源盤・以降の二次側電気工事~~	・				
~~17~~	~~昇降かご内スピーカー・インターホン用配管（機械室・昇降路内）~~	・				
~~18~~	~~同上用配管（上記以外）~~		・			
~~19~~	~~同上用配線~~	・				
~~20~~	~~運行監視盤・同配線~~	・				
~~21~~	~~同上用配管（機械室・昇降路内）~~	・				
~~22~~	~~同上用配管（上記以外）~~		・			
~~23~~	~~機械室冷房設備~~	・				
~~24~~	~~機械室換気設備~~			・		
~~25~~	~~昇降機工事着手前の昇降路・機械室の清掃~~	・				
~~26~~	~~昇降機工事着手後の昇降路・機械室の清掃~~	・				
~~**14**~~	~~**清掃用ゴンドラ**~~					
~~1~~	~~ゴンドラ用レール・アンカーボルト~~	・				
~~2~~	~~同上用制御盤~~	・				
~~3~~	~~同上用電源・コンセント~~		・			
~~**15**~~	~~**機械駐車設備**~~					
~~1~~	~~機械駐車設備本体~~	・				
~~2~~	~~同上躯体・基礎・杭・外装~~	・				
~~3~~	~~同上制御盤・二次側電気配管配線~~	・				
~~4~~	~~同上一次側配管配線~~		・			
~~5~~	~~車路管理装置~~		・			
~~**16**~~	~~**厨房設備**~~					
~~1~~	~~厨房機器類の製作取付け~~			・		
~~2~~	~~同上給排水管・ガス管~~			・		
~~3~~	~~同上電源コンセント・配管配線~~		・			
~~4~~	~~フード取付け・ダクト接続~~			・		
17	**その他**					
~~1~~	~~避雷設備・同接地工事~~		・			
2	植栽工事	⊙				
~~3~~	~~同上散水設備~~			・		
4	サイン	⊙				
5	ブラインド ~~ロールスクリーン~~	⊙			・	
~~6~~	~~ブラインドボックス・カーテンボックス~~	・				
7	カーテン・カーテンレール ~~＋シェード~~	⊙			・	
8	消火器	○		・	・	
~~9~~	~~同上設置用ボックス~~	・		・		
~~10~~	~~煙突本体・点検口・掃除口・排水口・煙道接続口~~	・				

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	特記仕様書(1)	no scale ※A3は50%縮小	2008.09.26			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO D —— 002

7．見積要領書

1．見積用設計図書

a　質問回答書（下記に対するもの）
b　見積要領書（現場説明書・追加変更指示書含む）
c　特記仕様書
d　図面
e　公共建築工事標準仕様書（最新版H19年版）
f　その他（ 監理指針（国交省大臣官房官庁営繕部監修））

2．工事請負契約の条件

a　契約は下記の約款による。
　※民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款　⊙その他の約款（ 発注者の指示による ）
b　特許権などの取扱い
　1）特許権、実用新案権、意匠権、商標権など日本国の法令に基づく第三者の権利の対象となっている工事材料・建築設備の機器、施工方法などを使用するときは、請負者の責任において必要な手続きを行い、費用を負担する。
　2）施工図などの著作権に係る本建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。
c　部分使用、部分引渡
　1）契約者および設計図書により部分使用、部分引渡の指定がある場合、法令にもとづいて必要となる手続きについて発注者に協力する。
d　軽微な変更
　1）現場の収まり、取合いなどの関係で、材料の寸法、使用、工法、取付け位置または取付け方法などを多少変更し、または取付け数量を多少増減するなどの軽微な変更は監理者の指示により行う。この場合の請負代金の増減はしない。
e　設計変更
　1）部分的な変更または一部の追加工事などに関して請負代金額に増減が生じた場合には、請負者は施工に先立ち、そのつど工事費の増減を清算した内訳明細書を監理者に提出して、書類によって承諾を受けた後に施工する。これらの場合の工事単価は、原則として請負代金内訳書の単価による。
f　工事範囲および工事費に含まれる費用
　本工事に必要な下記の工事および費用は本工事に含まれる。
　1）施工、材料および製品の試験、見本等の作成、検査に要する費用。
　2）工事施工に必要な敷地周辺の障害となるものの移設と復旧。
　3）工事期間中の官公署への必要な届出、手続き、検査などの費用。
　4）工事用機器、材料などの取入れに必要な搬入口および通路の設置とそれらに伴う補強、および後方付け。
g　工事費に含まれない費用
　次に示す費用は発注者の負担とする。
　1）予測しなかった大規模の地下埋設物および障害物の撤去費用。
　2）敷地外の電力、ガス、上下水道の引込み負担金。
　3）工事目的物に含まれる諸費用（電気、ガス、上下水道、ＤＨＣ等）の基本料金。
　4）近隣との紛争解決に要する費用。ただし、工事施工に起因するものは請負者の負担とする。
　5）工事施工上の問題以外のＴＶ電波障害の調査および対策に対する費用。
　6）地鎮祭以外の式典費。ただし、式場の設営に請負者は協力する。
h　第三者、近隣住民への対策
　1）請負者は、危害防止対策、騒音・振動対策、工事用車両による交通障害対策、塵埃・錆対策など工事の進行によって発生が予想される障害に対しては、事前に万全の工事計画を立て実行し、その費用を負担する。
　2）これらの計画に際しては、事前に近隣住民の十分な了解を得ることによって、工事の進捗に差支えのないよう責任を持って処置する。必要な場合は近隣住民と工事協定書を取り交わす。

3．特別な材料・機器などの工法

a　公共建築工事標準仕様書に記述されていない特別な材料・機器などの工法は、当該製造者の指定工法による。

4．建築材料など

a　本工事に使用する建築材料などは、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。
　同等のものとする場合は監理者の承認を受ける。

5．参考図の取扱い

a　設計図書に添付した参考図は品質特性、形状、工法などを参考として記載したものであり、その材料、形状、工法などについての特定の製造者を示すものではない。

8．管理運営の進め方

a　設計図書の要点や監理方針などについて、施工に先立ち設計監理者から施工者にその内容について説明を行う。施工者はそれを正しく理解し、的確に工事を完成させる。
b　適用するツールは⊙印のものによる。
　・設計説明書　　・設計品質伝達書　　・監理方針書　　（　　　　　　）

9　防水の保証期間

防水工事およびシーリング工事は専門工事業者による責任施工とし、保証に関する資料を監理者に提出する。
　また保証期間は下記による。建物引渡し時に発注者に施工業者と連名の上、防水保証書を提出する。

防水種別	保証期間	備考
・アスファルト防水	※10年　・	
・改質アスファルトシート防水	※10年　・	
・ＦＲＰ防水（ガラス繊維混入）	※10年　・	
・ウレタン塗膜＋弾性ＦＲＰ複合防水	※10年　・	
・合成高分子ルーフィングシート防水	※10年　・	塩化ビニル樹脂系
・塗膜防水	※7年　・10年	
・ステンレス防水	※15年　・	
・セメント系塗布防水	※5年　・	
・モルタル防水	※5年　・	
⊙シーリング材	※5年　・7年	

①一般共通事項

① 適用範囲　(1.1.1)
本特記仕様書は図面および国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（以下「標準仕様書」という。）に優先する。また、「標準仕様書」１章の一般共通事項は総て本特記仕様書を適用するほか、監理者の指示による。

② 用語の定義　(1.1.2)
a 監理者
　1) 工事請負契約書および工事請負契約約款による監理者およびその代理者をいう。
　2) 「標準仕様書」で規定している「監督職員」は「監理者」と読み替える。
b 「標準仕様書」の「承諾」の用語を「承認」と読み替える。

③ 官公署その他への届出手続きおよび検査　(1.1.3)
a 関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等の種別、手順、時期等を一覧表にしてあらかじめ監理者に提出する。
b 関係官公署その他関係機関の立会い検査を必要とするものは、監理者と打ち合わせのうえ検査を受け、その結果を監理者に報告する。
c bの検査の結果、不合格の箇所がある場合はすみやかに補正し、必要な手続きを行い、その結果を監理者に報告する。

④ 関連別途工事への協力と調整　(1.1.7)
a 工事を完成させるために密接に関連する別途工事については、請負者は別途工事の施工に協力するとともに、円滑な工事進捗が行われるよう調整する。
b 別途工事との調整に当たって、監理者より指示のある場合はこれに従う。

⑤ 疑義に対する協議等　(1.1.8)
a 設計図書に対する疑義は、工事請負契約前に質問回答書をもって確かめておかねばならない。工事請負契約後に発見されたものは、すみやかに監理者に報告しその指示を受ける。この場合、原則として請負代金額の増額はしない。
b 請負代金内訳書に誤謬あるいは脱漏があることを発見した場合は、監理者と協議する。

⑥ 発生材の処理等　(1.3.8)
a 発生材の処理
　特別管理産業廃棄物　⊙無　・有（　　　　）
　引渡しを要するもの　（　　　　）
　汚染土壌　⊙無　・有（　　　　）
　再利用を図る発生材　・　　・
　　　　　　　　　　　・　　・
　再資源化を図る発生材・コンクリート　・ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材
　　　　　　　　　　　・木材（本地域は除く）・アスファルトコンクリート
b セメント・コンクリート廃材等のうち再生可能なものは、原則としてすべて再生プラントへ搬入等を行い再資源化を図る。
c 建設副産物の処理の方法・処分場所の選定には十分配慮し、関係法規等を遵守し適切な処分を行い監理者に報告する。また、環境破壊、周辺からの苦情、事故等が発生しないよう十分注意する。

⑦ 施工図等　(1.2.3)
a 総合図
　1) 各工事の施工に先立ち、各施工図の基準図となる総合図を作成する。
　2) 総合図は施工図作成に先立ち、建築・設備・その他、別途発注工事請負者の情報をすべて盛り込み、それらの接点の細部調整を行うためものとする。
　3) 監理者の指示により、建築工事請負者が元図（平面図、展開図、天井伏図等）を作成する。設備その他の関連工事各施工者は、協力して各工事の機器類等を元図に記載し、相互調整を行う。
b 模型、型板、見本など
　1) 工事を完成させるために必要な軽微な模型、型板、見本などは、施工に先立ち、監理者の指示により製作して、承認を受ける。
　2) 承認を受けた見本は、使用箇所、承認日時を付けて整理し、完成引渡し時まで保管する。

⑧ 工事の記録　(1.2.4)
a 工事報告書の提出
　1) 請負者は工事の進捗、現場打合せ事項、指示事項、現場行事、材料の搬入などの状況を示す報告および出来高対照表、施工状況略図を記載した工事報告書を月１回提出する。工事報告書には工事写真（定点撮影含む）を添付する。
　2) 工事日報を提出する場合は監理者の指示による。
b 請負者は、工事施工の一工程を完了した場合は、その施工が設計図書および施工図に適合することを検査または確認して、監理者に報告する。

⑨ 工事関係提出図書
a 工事の着手・施工・完成に当たり、必要な書類を遅滞なく作成し、監理者に提出する。
b 提出する書類の種別・内容は下表の⊙印による。提出部数は（2）部（発注者・監理者用）とする。

提出書類	種　別	内　容
工事着手時	⊙工事請負契約書	写し
	⊙損害保険証書	写し
	⊙工事着手届	
	⊙主任技術者および現場代理人届	
	⊙工事現場編成届	経歴書を添付
	⊙実施工程表	
	⊙施工計画書	
	⊙仮設計画図	
	⊙総合出来高予定表	
	⊙総合図・施工図作成工程表	
	⊙着工現場写真	日付入り写真、内容は監理者の指示による
	・	
	・	
工事期間中	⊙専門業者一覧表	
	⊙機器・材料製造者一覧表	
	⊙工事報告書	施工記録・工事進捗度などを含む（⊙月報　・週報）
	⊙工事記録写真	日付入り写真、内容は監理者の指示による
	⊙施工計画書・施工要領書	各工事着手前に提出
	⊙施工図・機器製作図	監理承認を得てから施工のこと
	⊙試験・検査報告書	
	⊙現場打合せ記録	
	⊙申請・届出書類一覧表	提出先・申請者・提出時期を記入
	⊙出来高調書・請求書	
	・	
	・	
完成時	⊙引渡図書明細書	
	⊙自主検査報告書	
	⊙官公署届出書	検査済証を添付
	⊙工事完成届	
	⊙竣工引渡書および受領書	
	⊙建物保守管理計画書（案）	機器取扱説明書、建物維持管理書など
	⊙鍵、備品、予備品明細書および受領書	
	⊙完成図（竣工図）	26頁参照
	⊙完成写真（竣工写真）	27頁参照
	⊙施工図・機器製作図	図面の範囲は監理者の指示による
	⊙工事関係業者リスト	社名･担当者名･連絡先などを記入
	⊙ 防水１０年保証書	連名にて竣工時に提出
	⊙ １年点検リスト	検査予定年月日、検査項目

⑩ 施工管理技術者　(1.3.2)
a 工事請負契約書に定める現場代理人は、下記の⊙印の資格を適用する。

資　格	建築	電気	空調	衛生	昇降機	
１級建築士	・					
一級施工管理技士（各専門部門に適用）	⊙	⊙	⊙	⊙		
電気主任技術者		⊙			・	
建築設備士（建築設備技術者協会）		⊙	⊙	⊙	・	
設備士（空調衛生工学会）			⊙	⊙		
技術士（各専門分野に適用）	・	・	・	・	・	

⊙印が複数ある場合は、そのいずれかの資格を適用する
b 現場代理人および管理技術者または主任技術者は本工事に専任とし、原則として現場に常駐するものとする。非常駐とする場合は監理者の承認を受ける。

⑪ 電気保安技術者
　※適用する　　・適用しない　(1.3.3)

⑫ 施工条件　(1.3.5)
施工時期・時間の制限　※ 指定しない　・
部位別施工順序　※ 指定しない　・ 図示による
工事用車両の駐車場所　・ 有（図示）　・ 無
資機材置場所　・ 有（図示）　・ 無
関係機関等との協議の未成立事項　・ 有（内容：
　　　　　　　　　　　　　　　　・ 無
関係機関等との協議結果・特定条件の付加　・ 有（内容：　　　）
　　　　　　　　　　　　　　　　・ 無

⑬ 安全対策
安全訓練等の実施　※ 実施する　・ 実施しない　(1.3.7)
　工事着手後，原則として作業員全員参加により，月当たり半日以上の時間を割り当て安全訓練等を実施する。

14 環境対策
・　ＩＳＯ１４００１対象工事
　施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画書を記載し，現場においては特に環境に配慮する。
※　対象外工事

15 工事現場のイメージアップ
・ 行う（内容：　　　）　・ 行わない　(1.3.7)

⑯ 建築材料等
※　本工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。　(1.4.1)
※　本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。
※　本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等（VVOC,VOC等）の放散しないもの又は放散量の少ないものの使用に努める。
※　ホルムアルデヒド仕様
　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
　　普通合板，複合フローリング等　：日本農林規格（JAS）Ｆ☆☆☆☆
　　パーティクルボード，ＭＤＦ（中質繊維板）：日本工業規格（JIS）Ｆ☆☆☆☆
　　クロス類　：壁装材料協会規格（ISM）適合品又は同等品
　　内装工事に使用する塗料及び接着剤：化学物質等製品安全データシート（MSDS）等にホルマリン不使用が明示されたもの
※ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定：測定は，測定する者及び使用する測定機器等の測定仕様等に定めるもののほか，以下のとおりとする。
　測定対象物質：※ホルムアルデヒド（濃度指針値0.08ppm）
　　　　　　　　※トルエン（濃度指針値0.07ppm）
　　　　　　　　※キシレン（濃度指針値0.20ppm）
　　　　　　　　・ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値0.04ppm）
　測定する室等：（各階毎に、主要な居室１箇所とする）
　測定結果等報告書の提出：測定後は，発注者に報告書を１部提出する。

⑰ 材料の検査に伴う試験　(1.4.4)
a 材料、機器の検査に伴う試験のうち監理者の立会いを要するものは、一般共通事項に定められたものおよび監理者の指示するものとする。
b 試験方法はJASSおよびJISを標準とし、これらの規格制定のないものについては一般に認められた方法から選定するものとし、監理者と協議する。
c 試験は公的試験所を除き、原則として請負者が立ち会う。

⑱ 技能士　(1.5.2)
⊙適用する　・適用しない
適用工事種別
　1) 鉄筋工事（鉄筋施工）
　2) コンクリート工事（型枠施工）
　3) 鉄骨工事（とび）
　4) ブロック、ALC板工事（ブロック建築ALCパネル施工）
　5) 防水工事（アスファルト防水工事作業、合成ゴム系防水工事作業、シーリング防水工事作業）
　6) 石工事（石材施工）
　7) タイル工事（タイル張り）
　8) 木工事（建築大工）
　9) 屋根工事（建築板金、スレート工事）
　10) 金属工事（鋼製下地作業（内装仕上げ施工））
　11) 左官工事（左官）
　12) 建具工事（サッシュ施工、ガラス施工）
　13) 塗装工事（塗装）
　14) 内装工事（プラスチック系床仕上げ作業、ボード仕上げ工事作業、表装）
　15) 植栽工事（造園）

⑲ 工法の提案　(1.5.8)
設計図書に定められた工法以外で、所定の品質および性能の確保が可能な工法の提案がある場合は、請負者の責任において計画・立案し、監理者と協議する。

⑳ 現地調査
a 工事の着手に先立ち、次の事項および監理者の指示する事項について、現地調査を行い、その結果を図面および書面、写真にまとめ、速やかに監理者に報告する。それらの調査結果は仮設工事に十分反映させる。
b 現地調査は、工事によって影響を受ける可能性のある以下のような項目について行い、その結果を十分に把握し、必要に応じて調査書を作成する。なお、建設敷地の状況確認は仮設工事（2.2）による。
　1) 敷地周辺の環境、周辺の建物、周辺道路の交通状況、道路規制の有無、道路幅や作業時間規制など。
　2) 近隣建物の損傷程度や構築物の構造、形状、特に基礎、下構築物などの詳細な状況。
　3) 敷地周辺および周辺道路に埋設されている上下水道、ガス管、電気ケーブル、マンホールなどの仕様、位置、レベル、重要度など。

㉑ 製造者・専門工事業者の選定
a 主要材料、製品、機器およびそれらの製造者および専門工事業者については、監理者の承認を受ける。
b 指定がない場合または「同等以上」と記載がある場合は、その判定に必要な資料を提出して監理者の承認を受ける。
c 請負者は、請負者の総括のもとに、各製造業および専門工事業者の作業分担および責任範囲を明らかにした選定届を監理者に提出する。
d 製造者・専門工事業者選定届の記載事項は下記による。
　1) 指定の有無
　2) 専門工事業者名および製造者（代理店扱いの場合は併記する）
　3) 電話番号
　4) 担当者名
　5) 摘要欄

㉒ 自主検査
a 請負者は、契約内容の履行を保証するために、現場組織とは別個の自己検査組織を編成する。
b 着工後すみやかに、工事契約書および設計図書の内容を十分理解したうえ、工事目的物の品質を確認するために必要な自主検査計画書を作成し、監理者に提出する。
c 自主検査計画に基づき検査を行い、工事目的が工事契約書および設計図書に示した品質を確保されているかどうかを確認し、その内容と結果を記録して監理者に報告する。
d 自主検査を行う時期は、工事金の中間払いを受ける前、中間検査の受験前および完成検査の受験前、およびその他適時とする。

㉓ 中間検査
a 検査での指摘事項はすべて記録して、指摘事項の改善方法、今後の対策などを盛り込んだ中間検査報告書を作成し、指摘状況および改善状況を写した写真を添えて監理者に提出する。

㉔ 完成検査（竣工検査）
a 完成検査（竣工検査）は引渡し検査に先立って行う。
b 請負者は、工事を完了して完成検査を受ける前に自主検査を行い、工事目的物が完成後充分に機能することを確認してその結果を記録し、完成検査時に提出する。
c 検査の結果、不適合箇所はすべて記録し、その処理方法、処理予定期日などを記載して提出し、監理者の指示に従って改修し検査を受ける。
d 監督官庁その他の検査は、請負者がその責任において行う。監理者の立ち会いについては協議による。

㉕ 引渡し検査
a 工事目的が完成して、引渡しを行う前に引渡し検査を行う。
b 引渡し検査は発注者が主体となり、監理者が補佐する。
c 請負者は社内組織としての受検体制をとる。
d 検査の結果、不適合箇所はすべて記録し、監理者とその手直し方法を検討して、発注者の承認を得て手直しする。

㉖ 完成図（竣工図）　(1.7.2)
a 完成図は、完成した建物に関する情報を整理、記録し、建物の保守管理および将来改修、増改築等を行う際に基本情報として活用することを目的として作成する。
b 完成図は指示する期日までに原則として設計原図を使用して作成し、監理者の承認を受ける。
c ＣＡＤ利用図面の作成については監理者の指示による。
d 完成図の提出形式および部数は下記の表による。

提出図および形式	発注者	監理者	備　考
⊙ 完成原図一式	1　部		
⊙ 二ツ折製本（原図Ａ１、Ａ２とも）	1　部	部	
⊙ 50%縮小二ツ折製本（Ａ４版）	1　部	1　部	
注）原図Ａ２の場合は縮小版は不要			
⊙総合図	1　部	1　部	
⊙施工図	1　部	1　部	
・			
・			

㉗ 完成写真（竣工写真）
※　作成する
　国土交通省営繕部建築工事写真撮影要領により，次のものを発注者に提出する。

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提　出　様　式
※カラー ・白黒	※Ｌ ・２Ｌ ・六切り	※写真撮影要領の完成写真程度 ・　箇所　枚	※１部 ・　部	※工事用ｱﾙﾊﾞﾑA4版ﾎﾟｹｯﾄ式程度 ・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度） ・

・　作成しない

㉘ 鍵の整理、提出
a 各所の鍵は、鍵合わせを行う。
b 鍵は整理札をつけて、建具配置図ならび鍵目録とともに~~鍵箱に収納して~~提出する。
c 鍵数はマスターキーを含め、それぞれ3本を原則とする。
d 鍵箱には建具の鍵に限らず、設備関係、操作ボックス関係の鍵類を合わせて収納する。

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図
	平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	特記仕様書（2）	no scale ※A3は50%縮小	2008.09.26		

株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録（上伊）E第8Z081号
一級建築士登録　第204029号
管理建築士　有賀　修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369

管理番号
SHEET NO　D —— 003

② 仮設工事

① 仮囲い
※設ける(仮囲いの位置及び延長は図示による。)　・設けない
・万能鋼板 (H=　)　・波形鉄板(H=　)　・単管シート(H=　)
・シートゲート (H=　W=　) ×　箇所

② 危害防止
※シート張り　・金網養生枠

3 交通誘導員
・配置する (　ヶ月 ×　人 =　人月)　・配置しない

④ 監督職員事務所
・ 設ける (規模　m²程度 請負者事務所と同棟 ・可 ・否)　(表2.3.1)
※ 設けない (請負者事務所に打合せ会議室を確保する)
※ 備品 (　)

5 工事用水
構内既存の施設 ・利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない

6 工事用電力
構内既存の施設 ・利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない

7 工事用通路
※指定しない ・指定する (図示)

8 その他の仮設

③ 土工事

① 雨水及び湧水等の排水
排水方法 ※ 指定しない ・ 指定する (内容:　)　(3.2.2)
放流先 ※ 指定しない ・ 指定する (内容:　)

② 埋戻し及び盛土の種別
種別 ・A種 ※B種(現場内良質発生土) ・C種 ・D種　(3.2.3) (表3.2.1)
C種の場合　建設発生土受入数量　m²
発生場所
受入条件

③ 建設発生土の処理
⊙ 構外に搬出し適切に処理する。　(3.2.5)
・ 構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・所在地 (km)
・ 構内指示の場所に敷きならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。

4 山留め　(3.3.1)

5 濁水・湧水処理対策
濁水・湧水処理のための特別な対策の必要性
・ 有 (内容:　) ・ 無

④ 地業工事

1 既成コンクリート杭地業
杭の種類　(4.3.2)
・ プレストレストコンクリート杭 (JIS規格品) ・ A種 ・B種 ・C種
(4.3.2)

	記号	杭径(mm)	長さ(m)及び種別	本数(セット数)	備考
試験杭	⊗				
本 杭	○				

(4.3.6) (4.4.4)
接手 ※アーク溶接接手又は旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された無溶接接手
先端部形状 ・ 閉塞平坦型 ・ 開放型　(4.3.2) (4.4.2)
杭の施工法
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　現地盤ー　m
オーガー径　杭径ー50mm程度　(4.3.3) (4.4.3)
・ セメントミルク工法　(4.3.4)
・ 特定埋込杭工法 (旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)
杭打機の種類　(4.3.5)
ハンマーの種別 ・ 油圧パイルハンマー ・ ドロップハンマー
パイルドライバー ※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定 ・ 行う ※ 行わない

2 場所打ちコンクリート杭地業
コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種　(4.5.3) (表4.5.1)
掘削工法 ・ アースドリル工法 ※ 安定液使用　(4.5.4)
・ リバース工法
・ オールケーシング工法　孔内の水張り ※行う ・行わない

3 地盤改良
工 法 (セメント固化工法)　浅層混合処理 ・100kg/m3 ・150kg/m3

④ 床下防湿層
※ 設ける　ポリエチレンフィルム厚0.15mm重ね幅縦横とも250mm以上と　(4.6.5)
し、地中梁がある場合は、250mm以上のみ込みとする。
・ 設けない

5 土間コン下断熱材
※ 設ける　(4.6.5)
ポリスチレンフォーム3種b 厚25mm+砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房営繕部監修 平成17年度版) 図7-01-2による。
・設けない

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種別　(5.2.1)

規格名称	種類の記号	径 (mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下
	※ SD345	※ D19以上

2 溶接金網
※JIS G 3551規格品　線径(mm) 1.6×網目(mm) 50　(5.2.2)
使用箇所 (　)

③ 鉄筋の継手　(5.3.4)

接合方法	径(mm)	施工箇所
⊙重ね継手	D16以下	
⊗ガス圧接	D19以上	はり 柱の主筋

4 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ　(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

5 杭頭の補強
・ A形 ※ B形 ・ 図示　(別図1.1) (図1.1)

6 柱の帯筋
※H形　(別図2.2) (図2.2)

7 はり貫通孔の補強
補強形式 ⊗H形 ・MH化形 ・M形 ⊙既製リング形　(別図7.1) (表7.1～7.3)

8 圧接完了後の試験
試験方法 ※超音波探傷試験 ・引張り試験　(5.4.9)

⑥ コンクリート工事

① 設計基準強度
普通コンクリート(JIS A5308によるJIS表示許可工場の製造品)　(6.1.4) (表6.1.1)

Fc (N/mm2)	適用箇所
※ 21	べた基礎、土間、犬走り
・ 18	

② レディーミクストコンクリート
種別 ※ Ⅰ類 ・ Ⅱ類　(表6.1.1)
呼び強度(N/mm2)≧Fc(設計基準強度)+⊿F(3)+T(0～6)

③ スランプ
基礎, 基礎梁, 土間スラブ ※ 15cm ・ 18cm　(6.2.3)
柱, 梁, スラブ, 壁 ※ 18cm

④ 打放し仕上げの種類　(表6.2.3)

種別	施工箇所
⊙ A種(化粧打放または塗装仕上げ)	図示
⊗ B種(仕上げ塗材)	図示
・ C種	

⑤ セメントの種類
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.3.2)

⑥ 型 枠　(6.9.3)

せき板の種類	板厚(mm)	適用箇所
⊗ 合 板	※ 12 ・	図示
・ 床型枠用鋼製デッキプレート		図示
・ 断熱材兼用型枠		

MCR工法用シート ※ 適用しない ・ 適用する

7 軽量コンクリート　(6.11.1) (表6.11.1)

種別	適用箇所	所要気乾単位容積質量(t/m3)

⑧ 寒中コンクリート
適用期間　コンクリート圧縮強度が5N/mm2に達するまで行うこと。　(6.12.1)

9 無筋コンクリート
適用箇所は6.14.1による他、下記による。　(6.14.1)

適用範囲

10 流動化コンクリート　(6.17.1) (6.17.3)

種別	ベースコンクリートのスランプ(cm)	流動化コンクリートのスランプ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・10 ・12 ・15	・18 ・21	

7 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場
※ 下記のグレード以上の性能評価機関の性能評価を受けて、　(7.1.3)
国土交通省の認定を受けた工場
・S ・H ※M ・R ・J
・本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2 施工管理技術者
・適用する ※適用しない　(7.1.4)

3 鋼材の種別　(7.2.1)

材質	規格
⊙SS400 ⊙SSC400 ⊙STKR400 ・BCR400 ・SM ・SN	JIS規格品

4 高力ボルト　(7.2.2)
※トルシア形高力ボルト　セットの種類 ※2種(S10T) ・
・JIS形高力ボルト　セットの種類 ※2種(F10T) ・
・溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類 ※1種(F8T相当) ・

5 溶接部の試験
完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。　(7.6.11)

溶接の区分	AOQL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5 ※4.0	※6 ・	
現場溶接			

6 耐火被覆　(7.9.2) (7.9.4～6)

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定品	
・耐火板張り	建築基準法に基づく指定又は認定品	

7 アンカーボルトの保持及び埋込み工法　(7.10.3) (表7.10.1)

種別	適用箇所
・ A種	
※ B種	図示
・ C種	

8 柱底均しモルタル　(7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)

種別	適用箇所	柱底均しモルタル
※ A種	BPL下	無収縮モルタル 50N/mm2
・ B種		7.2.9及び7.10.3による

9 溶融亜鉛めっき　(7.12.3) (14.2.3)

亜鉛めっき	適用箇所
※ A種	

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造
ブロックの種類　(8.2.2)
※ 空洞ブロック 16

2 コンクリートブロック帳壁及び塀
ブロックの種類　(8.3.2) (表8.3.1)
※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック 08とすることができる)

3 ALCパネル　(8.4.2) (8.4.3～5)

工法	パネル種類	厚さ	幅	種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種・B種・C種 ・D種・E種		
・間仕切りパネル工法				・B種・C種・D種 ・E種・F種		
・屋根及び床パネル工法						

3 押し出し成形セメント板　(8.5.2) (表8.5.1) (表8.5.2)

工法	パネル種類	厚さ	幅	種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法	中空押出し			・A種・B種	図示	
・間仕切りパネル工法				・B種・C種		

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水　(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3～8)

種別	施工箇所
・ AI－2(屋外・保護防水・断熱)	
・ A－2(屋外・保護防水・密着)	
・ E－1(屋内・保護防水・密着)	

アスファルトの種類　JIS K2207規格品 ・3種(一般地域) ※4種(寒冷地)
押さえ金物 (※アルミ製L－30×15×2.0 ・　)
・断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム3種b 厚さ(mm) ※25 ・30 ・50
・適用防水種別D－1・D－2に限り脱気装置を設ける(材質:　数量:　)
・溶接金網 (規格　)
・伸縮調整目地(※成形伸縮目地 ・　)
製造所 (　)

2 合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.3) (表9.4.1)

種別	厚さ(mm)	施工箇所	保護塗料 (露出)
・S－F1	※1.2 ・		※カラー・シルバー
・S－F2	※2.0 ・		※カラー・シルバー
・S－F3	※2.0 ・		※カラー・シルバー
・S－M1	※1.2 ・		
・S－M2	※1.5 ・		

※脱気装置 (材質:　数量:　)
・絶縁シート (発泡ポリエチレンシート)
・その他の材料 (　)

3 塗膜防水　(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

種別	施工箇所	保護塗料 (露出)
・ウレタン系 ・X－1 ※X－2(屋外)		※カラー・シルバー
・ゴムアスファルト系 ・Y－1(地下外壁) ・Y－2(屋内)		

※脱気装置 (材質:ステンレス製又はアルミ製　設置数量:　箇所)

④ シーリング
※被着体との組み合わせは (表9.6.1) による。　(9.6.2) (表9.6.1)

5. 防水保証
アスファルト防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。

⑩ 石工事

① 石 材　(10.2.1) (表10.1.1) (表10.2.1) (表10.2.2)

石材の種類	仕上の種類	施工箇所	工法
図示	図示	図示(床仕上げ図に依る)	

2. 汚れ防止
床のワックスかけ ・行う ※行わない　(10.1.5)

⑪ タイル工事

① タイル
タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわ薬 無釉	うわ薬 施釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 注文
図示(外部床)	・	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	・	・
図示(内部床)	・	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	・	・
図示(内部腰壁)	・	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・

タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う　(11.2.1)

2 タイル下地コンクリート
後張りタイル下地コンクリート素地面の処理　(11.3.3)
・ 行う (下記のいずれかとする) ・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適用箇所
MCR工法	共仕15.2.5(C)	
MCR工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法 (高圧水洗)	共仕15.2.5(C)	
目荒し工法 (高圧水洗)	ポリマーセメントモルタル	

MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし共仕6.9.3(e)による
目荒し工法の高圧水洗は共仕15.2.4(C)による
ポリマーセメントモルタルの調合は共仕15.2.3(b)による。
共仕11.1.4(b)接着力試験の引張接着強度は0.6N/mm2以上とする。

③ 陶磁器質タイル張り
内装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 積上げ張り　施工箇所 (　)
⊗ 接着剤張り　施工箇所 (図示　)
外装タイルの工法　(表11.3.2)
⊗ 密着張り　施工箇所 (図示(メーカー指定工法とする))
・ 先付け　施工箇所 (　)
ユニットタイルの後張り工法　(表11.3.2)
※ マスク張り

⑫ 木工事

① 木 材
代用樹種を使用しない箇所　(表12.2.3)
※ なし ・ あり (　)

② 集成材
造作用集成材12.2.2.(2)による

等級	見掛かり		その他	
	※ 1等	・ 2等	※ 1等	・ 2等
単材の樹種				
単材の厚さ(mm)	10～15		10～15	

③ 接着剤
接着剤に含まれる可塑剤は, 難揮発性のものとする。　(12.2.6)

④ 木材保存剤
木材保存剤 (木材の防腐・防蟻処理) は, 非有機リン系のものとする。　(12.2.8)
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし, 十分に乾燥を行う。ただし, 現場における加工が生じた場合には, 加工した箇所に対し, 現場にて木材保存剤を塗布する。

⑬ 屋根および とい工事

① 金属板葺　(13.2.2) (表13.2.1)

材種	厚さ(mm)	屋根葺形式
・カラー亜鉛鉄板(※片面塗装・両面塗装)	※0.4・	※瓦棒葺 (心なし)
・ガルバリウム鋼板(※カラー・無塗装)	⊗0.4・	
・フッ素樹脂塗装鋼板	※0.4・	
・		

※監督員の承諾する業者とする。

2 折板葺
JIS A 6514の規格品　(13.3.2)

材種	厚さ	山高及びピッチ	断熱材	耐火性能
・JIS G 3312の屋根用規格品	※0.8	・ 0920	・ 有	・有
・JIS G 3302の屋根用規格品		・ 1525	(　mm)	(30分耐火)
・JIS K 6774のSGのA種規格品		・ 1730	・ 無	・無
・				

・ 形式 (・ 重ね形 ・ はぜ締め形)
・軒先面戸 (　)

3 粘土瓦葺　(13.4.2)

種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・ 提出する ・ 提出しない

④ と い　(13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.4) (表13.5.5)

材種	防露
・ 配管用鋼管 (SGP)	※ 表13.6.5により行う ・行わない
・ 硬質塩化ビニル管(VP)	
・ ステンレスHL(SUS304)	塩ビ製φ75、60

・ 樋受石 (材質・規格:　)
※ 第一桝まで接続

5 ルーフドレン
※ 鋳鉄製 ・ 塩ビ製　(13.5.3)
※ 80A ・ 100A

⑭ 金属工事

1 あと施工アンカー
引抜き耐力の確認試験 ・ 行う ※ 行わない　(14.1.3)

2 ステンレス表面処理
※ HL ・ No.2B(ダル) ・ PHL　(14.2.1)
・ バフ仕上げ(No.7) ・ 鏡面(No.8)

3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2) (表14.2.1)

種類	施工箇所	色合
・ B－1種(無色)	図示	
・ B－2種(カラー)	図示	

④ 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3) (表14.2.2)

種別	施工箇所
⊗ 溶融C種(外部)	
※ 電気E種(内部、水廻り鉄部)	

溶融亜鉛めっきの付着量試験 ※ 行わない ・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験 ※ 行わない ・ 行う

⑤ 軽量鉄骨天井下地
野縁などの種類　(14.4.2) (表14.4.1)
屋内 ⊗ 19型 ・ 25型
屋外 ・ 19型 ⊗ 25型
屋外軒裏及びピロティー天井の補強 (溶接 or 外部用金物使用　)
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

6 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーなどの種類は、表14.5.1による。　(14.5.3)

7 金属成形板張り
種別　(14.6.2)
表面処理
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整接手 ・ 設ける ・ 設けない

8 アルミニウム製笠木
表面処理 ※ B-1種 ・ A-1種 ・ B-2種 ・ A-2種　(14.7.2) (表14.2.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用 ※ 使用する

9 手すり及びタラップ　(14.8.2) (14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
外部手すり	※ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・ 鋼 製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のC種
タラップ	※ ステンレスSUS304	外部HL仕上程度, 内部No.2B仕上程度

⑮ 左官工事

① セルフレベリング材
・ せっこう系 ⊙ セメント系　※部位は基礎立上り天端均し　(15.4.2)

② 仕上げ塗材仕上げ　(15.5.2) (表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 E ・内装薄塗材 E ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C ・外装厚塗材 E ・		※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材 CE ・複層塗材 E ・複層塗材 RS ※複層塗材 RE ・複層塗材 Si ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材		・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性 ・1種 ・2種 ※3種

3 ロックウール吹付け
吹付け厚さ(mm) ※ 10 ・　(15.7.3)

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図
	平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	特記仕様書(3)	no scale ※A3は50%縮小	2008.09.26		

株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369

管理番号
SHEET NO D —— 004

⑯ 建具工事

① 見本の製作等

製作 ※ 行わない ・ 行う（建具表による） (16.1.4)
仮組 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）

② アルミニウム製建具

(16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表14.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
※ A種	S－4	A－3	W－4	70（引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスの場合100
・ B種	S－5			
・ C種	S－6	A－4	W－5	100

表面処理		
	外部に面する建具	・ B－1種 ⊛ B－2（カラー）
	内部建具	・ C－1種 ※ C－2種（カラー）

B－2種，C－2種の場合 ・ブロンズカラー（※標準色 ・濃色）
・ステンカラー
防音ドアセット，防音サッシ ・ 適用する ※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3
断熱ドアセット，断熱サッシ ・ 適用する ※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級 ・ H－2 ・ H－3
耐震ドアセット，耐震サッシ ・ 適用する ※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級 ・ D－1 ・ D－2

③ 網戸

使用方法による区分 ⊛外面納まりの可動式 ・内部納まりの開き式 (16.2.3)
防虫網（線径0.25mm 16−18メッシュ） ※合成樹脂 ・ガラス繊維入り合成樹脂
・ステンレス(SUS 316)

4 鋼製建具

(16.3.2) (16.3.4) (16.3.6) (表16.3.2)
簡易気密型ドアセット ※ 使用する ・ 使用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ※ S－4 ・ S－5
建具寸法が共仕16.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	表16．3．2に同じ
出入口	枠類	一般部分	2．3
	戸	中骨	2．3
上記以外			表16．3．2に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない

5 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット ※ 使用する ・ 使用しない (16.4.2～4) (表16.4.1)
戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない
標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製

6 ステンレス製建具

表面処理 ・ HL (16.5.2～5)
鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ

⑦ 木製建具

かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟，鏡板は杉無節程度 (16.6.2)
ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ・
ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型

⑧ 建具用金物

マスターキーの作成 ・ 要 ⊙ 不要 (16.7.4)

9 自動ドア開閉装置

センサーの種類 ⊙ 光線式（反射）スイッチ (16.8.3) (表16.8.3)
・ マットスイッチ式 ⊙ タッチスイッチ ・
凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ） ・ 設けない
補助センサー ※設ける

10 重量シャッター

種類 ※ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター (16.10.2)
・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター
開閉機能による種別 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
耐風圧性能（JIS A4705による強さの区分） ・ 50 ・ 80 ・ 120
シャッターケース（防火、防煙以外の場合） ・ 設ける ・ 設けない

11 軽量シャッター

開閉機能による種別 ・ 上部電動式（手動併用） ※ 手動式 (16.11.2)
耐風圧性能（JIS A4705による強さの区分） ・ 50 ・ 65 ・ 80
スラットの形状 ※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
シャッターケース ・ 設ける ・ 設けない

12 オーバーヘッドドア

(16.12.2) (16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチール ・アルミニウム ・ファイバーグラス	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	※スタンダード ・ローヘッド ・ハイリフト ・バーチカル	・50 ・75 ・100 ・125	※溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ステンレス鋼板

⑬ ガラス

(16.13.2) (16.13.3)
外部のサッシュに使用するガラスは、所定の耐風圧性能を有すること。
熱線反射ガラスの映像調整 ・ 行う ⊙ 行わない
ガラスの止め材 ※ シーリング ・ ガスケット（可動アルミ建具に限る）
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の防火性能の認定を受けたシーリング材とする。

14 ガラスブロック（中空）

JISによる区分 (16.13.5)

表面形状による区分	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）	厚さによる区分
正方形	・160×160 ・200×200 ・320×320	・80 ・95
長方形	・250×125 ・320×160	・125

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白カラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・無 ・有	・白 ・グレー	・ アルミニウム製 （表面処理 ※B−2 ） ・ ステンレス製 （表面仕上 ）	・ 規定しない ・ 有 （ 分間）

15 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能等
・ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率D1
・ 図示			
・			

※品質は JIS A5759による。
・強化ガラスの飛散防止フィルム張り ・行う ・行わない

17 カーテンウォール工事

1 カーテンウォールの性能

(17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	PCカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

⑱ 塗装工事

① 防火材料

※屋内の壁および天井の仕上材は、防火材料または建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。

② 塗装業者

※日本塗装工業会の会員 ・監理者の承認する業者

③ 素地ごしらえの種別

塗装面	種別	
⊙木部（不透明塗料塗り）	※A種 ・B種	(表18.2.1)
⊙木部（透明塗料塗り）	・A種 ※B種	(表18.2.1)
⊙鉄面	・A種 ・B種 ※C種	(表18.2.2)
⊙亜鉛めっき面	・A種 ※B種 ・C種	(表18.2.3)
⊙モルタルおよびプラスター面	・A種 ※B種	(表18.2.4)
⊙コンクリートおよびALCパネル面	・A種 ※B種	(表18.2.5)
⊙コンクリートおよび押出し成形セメント板面	・A種 ※B種	(表18.2.6)
⊙せっこうボードおよびその他のボード面	・A種 ※B種	(表18.2.7)
⊙せっこうボード面継目処理工法	※A種 ・B種	(表18.2.7)

・アルミニウム面の素地ごしらえ

	工程	種別、A種	塗料その他	面の処理	備考
1	汚れ、付着除去	○	──	スチールウール、布等で除去する	
2	油類除去	○	──	苛性ソーダで洗い、水洗い	
3	化成皮膜処理	○	──	クロム酸塩化成皮膜処理後、水洗い乾燥	

・ステンレス面の素地ごしらえ

	工程	種別、A種	塗料その他	面の処理	備考
1	汚れ、付着除去	○	──	スチールウール、研磨布等で除去する	
2	油類除去	○	──	溶剤ぶき	

4 錆止め塗料種別

屋外 ※A種 ・B種 屋内 ・A種 ※B種 (表18.3.1)

5 錆止め塗料塗り

・鉄面 見掛り部分 ※A種 ・B種 (表18.3.3)
見隠れ部分 ・A種 ※B種
・亜鉛めっき面 鋼製建具 ※A種 ・B種 (表18.3.4)
その他 ・A種 ※B種

⑥ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

⊙木部 (表18.4.1)
・鉄面 ・A種 ※B種 (表18.4.2)
・亜鉛めっき面 (表18.4.3)

⑦ 木部クリヤーラッカー塗り(CL)

・A種 ※B種 (表18.5.1)

8 フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)

・木部 ・A種 ※B種 (表18.6.1)
・鉄面および亜鉛めっき面 ・A種 ※B種 (表18.6.2)

9 塩化ビニル樹脂エナメル塗り(VE)

・A種 ※B種 (表18.7.1)

10 アクリル樹脂エナメル塗り(AE)

・A種 ※B種 (表18.8.1)

⑲ 内装工事

① ビニル床シート

JIS A5705による (19.2.2) (19.2.3)
種類の記号 色柄 厚さ(mm) 熱溶接工法
NC ※ 無地 ⊛ 2.0 ⊛ ビニル床シート部すべて
⊙ マーブル ⊙ 2.5 ・ 右記の室（ ）

2 化粧ビニル床シート

JIS A5705を満たす材料で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	熱溶接工法
NC又はNF	※ 木目調 ・ 石目調		※ 化粧ビニル床シート部すべて ・ 右記の室（ ）

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

3 ビニル床タイル

(19.2.2)

種類		色柄	厚さ (mm)
※ コンポジションビニル床タイル	※半硬質 ・軟質	−	~~2.0~~ 2.5
・ ホモジニアスビニル床タイル	−	~~サンド調~~ デザイン･石目･木目	

4 特殊機能床材

(19.2.2)

床材	品質	厚さ(mm)	寸法(mm)	工法
帯電防止ビニル床タイル	JIS A5705によるHT程度	4～5	500×500	置き敷き

⑤ 視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質	寸法 (mm)
・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系	300×300

⑥ ビニル幅木

材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 (19.2.2)
高さ (mm) ※ 60（既製品） ・ 75 ・ 100
厚さ (mm) ・ 2.0 ※$t \geqq 1.5$

⑦ カーペット敷き

・ タフテッドカーペット (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	

品質は参考商品名である

⊙ タイルカーペット (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	第1種	ループパイル	タイルカーペット全面接着工法	6.5	製造所の仕様による

8 フローリング張り

(19.5.2～3) (19.5.5～7) (表19.5.3～4)

	類別	材種	工法	塗装
単層	・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット	・なら ・さくら ・ひのき	・モルタル埋込み工法 ※釘留工法 （種別・A種・B種※C種） ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・生地のままワックス塗り ・既塗装品
複合	※複合1種フローリング ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング	・なら ・さくら ・ひのき	※釘留工法 （種別・A種・B種※C種） ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・生地のままワックス塗り ・既塗装品

9 畳敷き

畳の種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (19.6.2) (表19.6.1)

⑩ せっこうボードその他ボードおよび合板張り

(19.7.2) (表19.7.1)

種類	記号	厚さ(mm)、規格等	備考
・難燃木毛セメント板	──	・15 ・20 ・25 ・	
・断熱木毛セメント板	──	・15 ・20 ・25 ・	
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿） ⊙6 ・8 ・10	
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9 ・12 ・ ） ・凹凸タイプ ※12 ・15 ・19 ・	
・ロックウール化粧吸音板	──	※フラットタイプ ※9（不燃） ・凹凸タイプ ※12 ・15（不燃）	
⊙せっこうボード	GB-R	9.5（準不燃） 12.5（不燃） 15.0（不燃）	
⊙シージングせっこうボード	GB-S	9.5（準不燃） 12.5（準不燃）	
・強化せっこうボード	GB-F	12.5（不燃） 15.0（不燃）	
・せっこうラスボード	GB-L	9.5	
⊙化粧せっこうボード（トラバーチン）	GB-D(T)	9.5（準不燃） 12.5（不燃） 9.5（不燃）	
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D(W)	12.5（不燃） 幅440程度 模様（※柾目 ・板目）専用下地材付き	
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2	
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	12.5（不燃）	
・グラスウール吸音ボード	GW-B	25（不燃） JIS A 6301(32K)	

11 遮音シール材

※ アクリル系シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (19.7.2)

⑫ 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火性能の級別
図示		・1級 ・2級
		・1級 ・2級

品質は参考商品名である。

⑬ 断熱材

(19.9.2) (19.9.3)

材質	工法	施工部位	厚さ(mm)	
⊛ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	押出法2種b 押出法3種b（スキン層付）	下記以外 接地部分及び屋根防水部分ピット内部	※25 ・	JIS A 9511の規格品
⊙吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	現場発泡断熱材（特定フロンによるものを除く）	外壁内側、空調屋外機デッキ下	※20 ⊙30	JIS A 9526による 難燃性 ・2級 ※3級
・ グラスウールマット ・グラスウールマット	・	壁 壁	・ ・30	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図7－01による

⑳ ユニットおよびその他工事

1 フリーアクセスフロア

施工箇所（ ） (20.2.2)
耐荷重 ⊙ 300N ・ 500N
構法 ⊙ パネル構法（支柱分離式） ・ 溝構法
高さ H＝
適用地震時水平力 ※ 0.6G ・ 1.0G
床仕上材 ⊙ タイルカーペット ・ 帯電防止タイル（・ 置き敷き ・ 圧着）
ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による (20.2.3)
床表面仕上げ材の品質は内装工事による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚／m²以上とする。

2 可動間仕切（パーテーション）

構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色） t＝0.5以上
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃

③ 移動間仕切（スライディングドア）

パネルの操作方法による種類 規定しない ※建具表図示 (20.2.4)
パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板（標準色） t＝0.5以上
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④ トイレブース

表面材 メラミン化粧板~~（木目標準色）~~ ※建具表図示 (20.2.5)
幅木 ステンレス製 H＝60
フレーム アルミ製
扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5 階段滑り止め（ノンスリップ）

材種 ステンレス（SUS304）ビニールタイヤ入り（幅約35mm） (20.2.6)
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

⑥ 床目地棒

ステンレスFB（SUS304） 5～6×12 (20.2.7)
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7 黒板及びホワイトボード

形式 ・ 平面 ・ 曲面 (20.2.8)

⑧ 鏡

耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き (20.2.9)

⑨ 表示

衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品 (20.2.10)
誘導標識 市販品
室名札

10 煙突ライニング材

煙突用成形ライニング材 安全使用温度 400℃ (20.2.11)

⑪ ブラインド

(20.2.12)

形式	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤー式 ・ コード式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形 (mm)	※ 25 ・	・ 80 ・ 100

12 ロールスクリーン

操作方式 ・ ワンタッチ式 ※ チェーン式 ※シェード図示 (20.2.13)
スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ

⑬ カーテン

(20.2.14) (表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動

⑭ カーテンレール

材質 ※ ステンレス製 ⊙ アルミニウム製 (20.2.14)
形状 ※ D型又は角型 ・ C型

15 アルミニウム製カーテンボックス

表面処理 ※ A－1種又はB－1種 ・ A－2種又はB－2種

⑯ 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井（天伏せ図示）	※アルミニウム製 ・	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※アルミニウム製 ・	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

17 くつふきマット

材種	受枠
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

18 ステンレス流し台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）トラップ付
・ ミニキッチン

19 コンロ台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）バックガード（※有 ・無）
・

20 つり戸棚

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）
・

21 水切棚

※ 1段 ・ 2段

22 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品 彫り込みタイプ既製品

23 旗竿

形式 ※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝ m
材種 ※ アルミニウム合金 ・
操作方式 ※ ハンドル式 ・ ロープ式

24 屋内掲示板

※ 既製品 アルミニウム製枠 表面発泡シート張り

㉕ 視覚障害者用誘導ブロック

屋外 ※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル（※100角 ・150角）

26 出隅面取材

材種 ※ アルミニウム合金製 ・
高さ ※ 天井まで ・ 1.8m程度

27 かぎ箱

市販品 フック数（本） ・30 ・40 ・60 ・100 ・

㉘ 身障者用可動手すり

29 消火器ボックス

鋼製 既製品 ※表面SUS304HL

㉚ ピクチャーレール

アルミ製 既製品

㉑ 排水工事

① グレーチング

※ 鋼製 ・ ステンレス製 (21.2.2)

2 鋳鉄製マンホールふた

簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。 (21.2.2)

㉒ 舗装工事

① 再生材

※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

2 盛土材料

路床の盛土材料（ ）種 (22.2.3) (表3.2.1)

3 遮断層及び凍上抑制層用材料

遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4 路床安定処理

路床安定処理添加材料 (22.2.3) (表22.2.2)
※ 普通ボルトランドセメント ・ 生石灰特号

5 路床土の支持力比（CBR）試験

※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

6 路床締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

7 砂の粒度試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

⑧ 路盤材料

⊛ 再生クラッシャラン RC－40（透水性舗装の場合を除く） (22.3.3)
⊙ クラッシャラン C－40
・ クラッシャランスラグ CS－40

9 路盤の締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.3.5)

⑩ アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） ・

11 コンクリート舗装

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網 ※ あり ・ なし
コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない

12 ブロック系舗装

・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 (22.8.2) (表22.8.1)
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石 基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑬ 縁石及び側溝

(22.9.2)

⑭ 砂利敷き

・ A種（通路、歩行部分） ※ B種（建物廻り） (22.10.2)

⑮ 区画線

※ 3種1号白 色：白 塗布厚さ：≧1.0mm

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の試験

透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない (23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない

2 植栽基盤

・ 適用する ※ 適用しない (23.2.2) (表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基盤の適用
・ A種	樹木	・ 適用する ※ 適用しない
・ B種	芝，地被類木	※ 適用する ・ 適用しない
・ C種		
・ D種		

3 植込み用土

※ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23.2.3)

4 土壌改良材

※ 適用する ・ 適用しない (23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積1m²当たりバーク堆肥で50リットル、
発酵下水汚泥コンポストで10リットルとする。

5 芝

種別 ※ こうらい芝の類 ・ 野芝の類 (23.4.2)

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図
	平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	特記仕様書(4)	no scale ※A3は50%縮小	2008.09.26		

株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録（上伊）E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369

管理番号
SHEET NO D ── 005

境界：既存コンクリブロック有

△敷地境界線

▽庇先端を示す

△軒高さ：3,270

建築面積算入部分：5.25m²

１ＦＬ＝設計ＧＬ+530

△最高の高さ：5,900

計画予定地：1877-4

【ポーチ】

【スロープ】

境界ブロック新設

▽フェンス新設H=800

▽道路中心線

既設電柱

水路

道路側溝

△道路境界線

△敷地境界線

前面道路
主要地方道伊那・辰野Ｔ線
（竜頭線）

1876-1の私道接道部
（Ａｓ舗装）

—·— 敷地境界線を示す

25.01　24.14　16.99　11.67　4.41　14,000　11,000　6,400　7,800　6,000　1,500　1,499　2,000　3,888

T-1　T-2　T-3　91　92　93　94　15

±０　-50　-30

配置図　1：200

至 辰野

木下区

(箕輪)

三日町区

(中箕輪)

天竜川

建設予定地

至 箕輪バイパス

至 伊那
伊那・辰野Ｔ線
（竜頭線）

案内図

N

座標求積表

地　番	1877-4			
測　点	Ｘｎ	Ｙｎ	（Ｘｎ＋１－Ｘｎ－１）Ｙｎ	距　離
91	-10737.460	-45392.496	641668.323456	4.41
15	-10741.378	-45390.480	648493.787760	11.67
93	-10751.747	-45385.132	62268.401104	24.14
94	-10742.750	-45362.732	-1111613.747660	16.99
92	-10727.242	-45369.674	-240005.575460	25.01
		倍面積	811.189200	
		面　積	405.5946000	
		地　積	405.59　　　㎡	

座標一覧表

測点名	Ｘ座標	Ｙ座標	備考
T-1	-10746.221	-45388.533	排水溝天端金属鋲
T-2	-10741.190	-45354.703	通路舗装上金属鋲
T-3	-10765.690	-45378.610	排水溝天端金属鋲

【敷地・建物概要】

（㎡）

項目		内容	
用途地域		無指定	
防火地域		無指定	
敷地面積		405.59m²（座標求積表に依る）	
建蔽率		３９．２６％（６０％）	
容積率		３７．９７％（２００％）（道路幅員による容積率Max240％）	
構造・規模		木造１階建 その他（08990）	
床面積	１階	154.00m²	
延床面積		＝　154.00m²	＝154.00m²(46.6坪)
容積率算定用延床面積			
建築面積		建物：154.00m² ＋（庇①：5.25m²） ＝159.25m²	＝159.25m²
敷地接道長さ		敷地南西面 16.07m　＝16.07m	
備　考		1877-1から分筆	

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	配置案内図・建物概要	1:200 ※A3は71%縮小	2008.09.24			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録（上伊）E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO D —— 006

図面ファイル名：D006配置案内図(箕輪三日町上町)　最終保存日時：2008/09/24 17:56:12　プリンタ出力 2008.9.26

平成20年度　三日町上町地区高齢者支えあい拠点施設整備事業

設計概要	項目	内容	項目	内容
設計概要	地名・地番		敷地面積	
	用途地域	指定なし		
	防火指定	無指定	建築面積	
	他の地域		建蔽率	
	主要用途	その他(公民館)、用途記号：08990	床面積：　基準法用	
	構造・規模	木造　１階建て	：容積率算入	
			容積率	
			設計備考	

チェック項目	関 連 法 規	法 規 基 準	対 象 位 置	設 計 内 容
《建築基準法》				
特殊建築物	基準法２条	別表第一（い）欄への該当	建物全体	特殊建築物ではない
準耐火建築物	基準法２６条	１，０００㎡超える建築物：１，０００㎡以内毎に 防火壁が必要　＊ただし書きに該当の場合、不要	建物全体	床面積は、1,000㎡以下
耐火及び準耐	基準法２７条	別表第一（い）欄	建物全体	該当しない
換気設備	基準法２８条 建告１８２６号	火気使用室には換気設備が必要 フード付：Ｖ＝３０ＫＱ以上の換気必要	調理室	火気使用室　（調理室：、ガスコンロ・ＩＨヒーター・給湯用電気温水器・電気ポット） 換気扇設置
避難及び消火	基準法３５条	本建築物は、避難、消火、居室排煙、非常照明、 敷地内避難＋消火通路の規定が掛かる	建物全体	規定通り設計済み
無窓居室等の主要構造部	基準法３５条の３	採光又は避難上の開口部を有しない居室を区画する 主要構造部を耐火又は不燃材料で作らなければならない	居室 その他の居室	有窓にて、該当せず 有窓にて、該当せず
道路	基準法４３条	接道：法４２条道路に２ｍ以上接道 法４２条２項道路の有無	前面道路	接道：十分に接道 道路後退：法４２条２項道路はナシ
道路斜線	基準法５６条１	前面道路：南西側道路幅員７．８ｍ	建物全体	配置図参照 南西側道路：幅員＋セットバックにより、道路斜線まで十分に余裕がある 隣地斜線：図示するまでもなし
居室の天井高	基準法令２１条	２．１ｍ以上	居室	居室天井高：すべての居室の天井高2.1ｍ以上
居室の床高 防湿処理	基準法令２２条	床が木造の場合	全ての居室	べた基礎にてコンクリートと防湿フィルム施工
便所	基準法令２８条	採光及び換気のため直接外気に接する窓 又は水洗いでそれに変る設備が必要	便所	水洗便所、かつ照明及び換気扇を設置
防火区画	基準法令１１２条 １，２，３，１２	耐火構造及び法２７条、６２条による準耐は区画が必要 法２４条該当部分と他の部分を防火壁＋防火設備常閉で区画が必要 防火設備：法２条９の３の性能を有するもの	建物全体 異種用途区画	1,000m2以下のため大規模建築物の防火壁･防火区画とも不要区画 ※面積区画、高層区画、竪穴区画、異種用途区画とも適用外
廊下の有効幅員	基準法令１１９条	居室床２００㎡越す階：両側居室：１．６ｍ　片側居室：１．２ｍ	廊下	一部通路：両側居室：１．６ｍ以上あり
屋外への出口	基準法令１２５条１ 基準法令１２５条３	居室の各部～出口：３０ｍ×２＝６０ｍ以下 物品販売店の屋外への出入口の合計：最大の階に 於ける床面積１００㎡につき６０ｃｍ以上	建物全体	各居室　最大６０ｍ以下　重複距離：３０ｍ以下 物販店ではないため対象外。 延面積１５００㎡未満につき該当せず（令１２１条１項２号）
排煙設備	基準法令１２６条の２	法別表第一(い)欄(一)項から(４)項の特殊建築物で延べ面積５００㎡を超えるものは、 排煙設備が必要	建物全体	床面積の1/50以上の有効な開口部を確保 ※別紙計算書による
防煙区画	基準法令１２６条の３	床面積５００㎡以内ごとに防煙壁で区画 排煙口に至る水平距離は、３０ｍ以下とする	建物全体	採光上の無窓居室ナシ 排煙上の無窓居室ナシ
非常用照明	基準法令１２６条の４	施設利用者の居室及び居室からの通路に必要 無窓居室	居室 その他の居室	規定通り設計済み
内装制限	基準法令１２８条の４－１	法別表第一（い）欄（＊）項の用途でその他の建築物の場合 延べ面積が２００ｍ2以上の建物に該当	建物全体	法別表第一（い）欄には該当しない 調理室のみ火気使用室に該当→壁･天井は準不燃材料による 避難安全検証法による内装制限：避難安全検証法は行っていないので、適用はなし
居室の採光		居室は、床面積の1/10以上採光が必要 無窓の場合→法３５条の３：無窓居室等を区画する主要構造部の不燃以上 令１２６条の４：非常用照明の設置	居室のみ	居室は1/10以上採光を確保 ※別紙計算書による 建築基準法上の無窓居室の場合 天井・壁の下地・仕上共、不燃で設計　非常照明を設置
居室の換気		有効な開口部による場合、床面積の１／２０以上 または、機械換気設備による シックハウスによる２４時間換気が必要	居室のみ	換気上の無窓居室はなし ~~既存部分は間仕切りにて区画のため、既存遡及なし~~ ※別紙計算書による
居室等の界壁		建築面積＞300㎡の建築物(小屋組み木造のもの) 小屋組みのけた行き間隔12m以内ごとに設ける。小屋裏または天井裏まで設ける	居室と廊下	本建物には該当しない ~~既存部分＋増築部分の界壁位置を図示~~ ~~ＧＢ－Ｒ　ｔ12.5＋ＧＢ－Ｒ　ｔ9（両面張り）にて界壁とする。~~

チェック項目	関 連 法 規	法 規 基 準	対 象 位 置	設 計 内 容
《消防法》				
営業時間 従業員数		未定ｈ(**～**) ０人		
特定防火対象物 防火管理者	消防法令	公民館：別表第一　１項ロ　集会所 Ｓ.48.9.3消防案22より、令32条の規定を適用して同表15項に掲げる 防火対象物に準じた取扱いとなる	建物全体	主たる用途：公民館
消防法上無窓階		※床面積の1/30以上の消火活動の行える開口が必要 建物１階：　154.00　㎡／３０＝　5.13　㎡以上で有窓階	建物全体	建具表より有効な開口部：　　㎡　　∴有窓階 計算するまでもなく有窓階となる ＡＷ－３のみで5.13m²をクリアしている。
人員算定		収容人員＝従業員人数＋利用者人数	建物全体	地区の会議時等に使用
防炎規制	消防法８条の３ 令４の３ 規４の３	防炎防火対象物の場合は、防炎対象物品を使用すること。	建物全体	カーテン、じゅうたん、幕類は防炎品を使用する
消火器	消防法令１０条	公民館：(別表第一　１項ロ　集会所)より、床面積≧150㎡にて設置	建物全体	必要単位より本数算出。歩行距離２０ｍ以内に設置すること 消火器ＡＢＣ10型　増築部：基本１本、既存部分：基本１本＋調理室１本　計２本設置 位置は平面図に図示
自動火災報知器＋自動通報	消防法令２１条	公民館：(別表第一　１項ロ　集会所)で延床面積３００㎡以上で設置 自動通報：延床面積５００㎡以上の場合設置	建物全体	延床面積：３００㎡未満なので消防法上必要ないが、条例により設置
非常ベル 自動サイレン	消防法令２４条２	収容人員５０人以上等で設置	建物全体	自動火災報知器で兼用
誘導灯	消防法令２６条	公民館：(別表第一　１項ロ　集会所)で設置 避難口誘導灯：避難階においては、歩行距離≦20ｍごとに設置 通路誘導灯：避難階においては、歩行距離≦40ｍごとに設置 誘導標識：歩行距離≦30ｍごとに設置	建物全体	設置
屋内消火栓	消防法令１１条	公民館：(別表第一　１項ロ　集会所)：延べ面積５００㎡以上で設置 準耐＋内装制限の場合は、***㎡倍読みにて***㎡以上で設置	建物全体	延床面積：５００㎡以下のため適用外
~~上記の代替として パッケージ型 消火設備~~	~~Ｈ16総務令92条~~	~~耐火建築物以外は、地階を除く階が２以下であり、かつ、延べ床面積が2,000㎡以下 水平距離20ｍ以内にⅠ型(850㎡以下)を設置する。~~	建物全体	
スプリンクラー設備	消防法令１２条	公民館：(別表第一　１項ロ　集会所)は、特定施設の場合6,000㎡以上で設置 公民館：(別表第一　１項ロ　集会所)は、非特定施設の場合6,000㎡以上で設置	建物全体	該当なし
漏電火災警報器	消防法令２２条	下地不燃材以外の材料で造った鉄網入の外壁の有る建物に設置	建物全体	該当なし
非常放送設備	消防法令２４条３	収容人員＊＊＊人以上等で設置、地階を除く階数≧11または地階の階数≧３で設置	建物全体	該当なし

チェック項目	関 連 法 規	法 規 基 準	対 象 位 置	設 計 内 容
《長野県建築基準法　基準条例》				
敷地と道路との関係	第２８条	延べ床面積が２００㎡以上の特殊建築物の敷地は、 道路に４ｍ以上接しなければならない	敷地全体	４ｍ以上接道：配置図参照
かど地の建築制限	第３８条	道路が交わる特殊建築物のかど敷地においては、敷地のすみを頂点とする 長さ２ｍの底辺をもつ二等辺三角形の部分で高さ３ｍ以下の範囲に、建築し、 又は交通上支障ある擁壁の類を築造してはならない。 ただし、敷地のすみ角が１２０°以上の場合は、この限りでない。	敷地全体	擁壁類なし：配置図参照

チェック項目	関 連 法 規	法 規 基 準	対 象 位 置	設 計 内 容
			敷地全体	

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図
	平成20年度　地域介護･福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	法規チェックリスト	non scale ※A3は50%縮小	2008.09.24		

株式会社　泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録　第204029号
管理建築士　有賀　修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369

外部仕上表

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
基礎	鋼製型枠コンクリート打放し（B種）　外部モルタル補修 基礎立上り天端はレベルモルタルt=15にて、水平を確認すること	軒天	軒天：無石綿セメントけい酸カルシウム板t=5不燃（突付けＶ溝）＋ＥＰ 一部有孔板φ６（20%程度）	外部スロープ	床：コンクリート刷毛引き 一部床：誘導表示タイル300□ アルミ手摺：H=800アンカー固定
外壁	外壁：窯業系サイディング　t=15、14横張り、部位により張分け※立面図参照 （通気工法）縦胴縁t=15　下地：構造用合板t=9張り	樋	竪樋：塩ビ鋼板既製品　φ60　横樋：塩ビ鋼板既製品		
屋根	一般屋根：横葺き（ガルバリウム鋼板）t=0.4、雪止め金物：千鳥２段 アスファルトルーフィング940 幕板：ガルバリウム鋼板　t=0.4	ポーチ	床：耐凍害磁器タイル張り□100（ノンスリップ）	外部物置	床：コンクリート金ゴテ仕上げ 壁：ラワン合板（２類）耐水ベニヤ　t=9.0 天井：軽量下地＋ラワン合板（２類）耐水ベニヤt=5.5 上部集成棚
一部下屋庇	玄関ポーチ庇屋根：角型瓦棒葺き（ガルバリウム鋼板）t=0.4、雪止め金物：千鳥１段 アスファルトルーフィング940 唐草：ガルバリウム鋼板　t=0.4曲げ	犬走り（機械基礎等）	コンクリート同時金ゴテ押さえ コンクリート誘発目地@3,000程度、出隅は面取り（辺寸法20mm）		
〃	束石：御影石（磨き） 絞り丸太：φ150　キシラデコール（クリア）塗り 化粧野地板･化粧垂木45ｘ90@300あらわし				

共通事項

項目	内容
断熱材（※ＲＣの場合）	屋上スラブ下　ポリスチレンフォーム　t=25　打込み スラブ返し（壁面･梁面から300mm）　現場発泡ウレタン　t=25 外壁面　ポリスチレンフォーム　t=25　打込み 建具廻り　現場発泡ウレタン　t=15充填 地下ピット内（ＧＬ－400mmまで）　ポリスチレンフォーム　t=25　打込み 地下ピット内（床暖房の場合）　図面参照
断熱材（※Ｓの場合）	軽量屋根部：断熱材フェノールフォーム（ネオマフォーム）t=35 デッキスラブ部：現場発泡ウレタン吹付け　t=30 床下：押出し法ポリスチレンフォーム３種ｂ　t=25＋砂　t=30 一般外壁面：現場発泡ウレタン吹付け　t=30
	軒天部分：グラスウールマット（24kg級）t=100 建具廻り：現場発泡ウレタン　t=15充填
断熱材（※Wの場合）	床下：スタイロフォームt=50 一般外壁面：構造用合板に現場発泡ウレタン吹付け　t=30 天井ウラ：断熱材：グラスウール（24kg級/m3）t=100敷込み
木部塗装	防腐防蟻塗装：住宅金融公庫標準仕様書に準ずる 標準はＬＣクリア（つや消し）とする。 シックハウス対応品、または水性塗料とする。

内部仕上表

階	室名	床仕上	巾木仕上	腰高サ	腰仕上	壁仕上	天井仕上	廻り縁	天井高サ	備考	手摺り（取付金物共）（材質）	カーテンレール（ボックス共）（ドレープ）（レース）	ロールスクリーン（ボックス共）ブラインド横型	室名札（取付金物共）アクリルパネル150□ t=5	掲示板（コルク貼り）掲示クロス貼	ホワイトボード ピクチャーレール	室名
1	玄関（土間部分）	土間部分：コンクリート木ゴテ押さえ 耐凍害磁器タイル張り□100（ノンスリップ） スロープ部分：コンクリート木ゴテ押さえ 耐凍害磁器タイル張り□100（ノンスリップ）	同左 木製巾木　H=60	FL+	同右	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	軽量下地＋ＧＢ-Ｄ（Ｔ）910□　t=9.5 トラバーチン模様	木製 H=35	2,500～ 土間：2,660	郵便受け：アルミ既製品落し口＋内部木額縁 上り框：花崗岩本磨き（御影石）120ｘ150 玄関内ｽﾛｰﾌﾟ天板：花崗岩本磨き（御影石）25ｘ100 下足棚、スノコ	○ 木製					○	玄関（土間部分）
	玄関ホール	構造用合板（針葉樹）　t=28下地 下地捨張り合板　t=6 タイルカーペット500□（市松模様）t=6～6.5	木製巾木　H=60	FL+	同右	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ） 一部壁掲示スペース：掲示用クロス張り 下地はコンパネ張りとする	軽量下地＋ＧＢ-Ｄ（Ｔ）910□　t=9.5 トラバーチン模様	木製 H=35	2,500	壁掲示スペース：四方枠化粧見切り材、掲示クロス張り ※壁掲示ウラ合板下地	○ 木製				○ 掲示クロス	○	玄関ホール
	廊下	構造用合板（針葉樹）　t=28下地 下地捨張り合板　t=6 タイルカーペット500□（市松模様）t=6～6.5	木製巾木　H=60	FL+	同右	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	軽量下地＋ＧＢ-Ｄ（Ｔ）910□　t=9.5 トラバーチン模様	木製 H=35	2,500		○ 木製					○	廊下
	トレーニングルームＡ	構造用合板（針葉樹）　t=28下地 下地捨張り合板　t=6 タイルカーペット500□（市松模様）t=6～6.5	木製巾木　H=60	FL+	同右	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	軽量下地＋ＧＢ-Ｒ　t=9.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	木製 H=35	2,600	移動間仕切りパネル仕上げは壁クロスに準ずる		○ 遮光ﾄﾞﾚｰﾌﾟ		○ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ		○	トレーニングルームＡ
	トレーニングルームＢ	構造用合板（針葉樹）　t=28下地 下地捨張り合板　t=6 タイルカーペット500□（市松模様）t=6～6.5	木製巾木　H=60	FL+	同右	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	軽量下地＋ＧＢ-Ｒ　t=9.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	木製 H=35	2,600	移動間仕切りパネル仕上げは壁クロスに準ずる		○ 遮光ﾄﾞﾚｰﾌﾟ		○ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ		○	トレーニングルームＢ
	トレーニングルームＣ	構造用合板（針葉樹）　t=28下地 下地捨張り合板　t=6 タイルカーペット500□（市松模様）t=6～6.5	木製巾木　H=60	FL+	同右	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	軽量下地＋ＧＢ-Ｒ　t=9.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	木製 H=35	2,600	移動間仕切りパネル仕上げは壁クロスに準ずる 収納内仕上：室内仕上げに準ずる 収納内：中段棚、枕棚		○ 遮光ﾄﾞﾚｰﾌﾟ		○ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ		○	トレーニングルームＣ
	調理室（※内装制限）（準不燃以上）	土間部分：コンクリート金ゴテ押さえ 構造用合板（針葉樹）　t=28下地 下地捨張り合板t=9 長尺塩ビシート（シーム溶接）t=2.0	塩ビ巾木　H=60	FL+	同右	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	軽量下地＋ＧＢ-Ｄ（Ｔ）910□　t=9.5 トラバーチン模様	塩ビ製	2,500	付け框：銘木練り付け集成材（既製品）30ｘ150			○ 横型	○ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ			調理室（※内装制限）（準不燃以上）
	控室	構造用合板（針葉樹）　t=28下地 下地捨張り合板　t=6 タイルカーペット500□（市松模様）t=6～6.5	木製巾木　H=60	FL+	同右	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	軽量下地＋ＧＢ-Ｒ　t=9.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	木製 H=35	2,500					○ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ			控室
	多目的ＷＣ	構造用合板（針葉樹）t=28 下地捨張り合板t=9 長尺塩ビシート（シーム溶接）t=2.0	同右	FL+1,000	耐水合板　t=12　下地 磁器タイル張り□100（施釉） 壁見切り：メタカラー（ＨＬ）　ＡＫ-９Ｐ	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ）	軽量下地＋ＧＢ-Ｄ（Ｔ）910□　t=9.5 トラバーチン模様	塩ビ製	2,500	ＳＫライニング天板：マーブライト甲板グラニット（機械設備工事） ライニング下地：木工事とし建築工事 機器類一式、機械設備工事とする。壁裏補強は建築工事				ピクト ○ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ			多目的ＷＣ
	ＭＷＣ	構造用合板（針葉樹）t=28 下地捨張り合板t=9 長尺塩ビシート（シーム溶接）t=2.0	同右	FL+1,000	耐水合板　t=12　下地 磁器タイル張り□100（施釉） 壁見切り：メタカラー（ＨＬ）　ＡＫ-９Ｐ	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ） 一部壁：モザイクタイル30□	軽量下地＋ＧＢ-Ｄ（Ｔ）910□　t=9.5 トラバーチン模様	塩ビ製	2,500	手洗い･ライニング天板：マーブライト甲板グラニット（機械設備工事） ライニング下地：木工事とし建築工事 機器類一式、機械設備工事とする。壁裏補強は建築工事 ※一部壁モザイクタイル貼（展開図参照）				ピクト ○ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ			ＭＷＣ
	ＷＷＣ	構造用合板（針葉樹）t=28 下地捨張り合板t=9 長尺塩ビシート（シーム溶接）t=2.0	同右	FL+1,000	耐水合板　t=12　下地 磁器タイル張り□100（施釉） 壁見切り：メタカラー（ＨＬ）　ＡＫ-９Ｐ	ＧＢ-Ｒ　t=12.5　ビニルクロス貼 サンゲツリザーブ（ＲＥシリーズ） 一部壁：モザイクタイル30□	軽量下地＋ＧＢ-Ｄ（Ｔ）910□　t=9.5 トラバーチン模様	塩ビ製	2,500	手洗い天板：マーブライト甲板グラニット（機械設備工事） 機器類一式、機械設備工事とする。壁裏補強は建築工事 ※一部壁モザイクタイル貼（展開図参照）				ピクト ○ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ			ＷＷＣ

共通事項

１．付属物は☉印のついたものを適用する。
２．詳細番号で例えば（２－０２－４）は建築工事標準詳細図を示し（特－２－０２）は共通詳細図を示す。
３．特記以外の木鉄部の塗装はＳＯＰとする。（和室回り木部の塗装は除く）ただし、上がりかまちはＬＣ仕上げとする。
４．下地区分　Ｃ：鉄筋コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ＡＬＣパネル下地、押出成形セメント板下地
　　　　　　　Ｓ：軽量鉄骨下地
５．特記以外の柱､はり､下がり壁の仕上げは壁仕上げによる。
６．付属物のうち、室名表示、誘導標識、便所表示、床点検口、消火器ボックス等は平面図又は平面詳細図による。
７．付属物のうち、ブラインドボックス、カーテンボックス、カーテンレール、天井点検口などは天井伏図による。
８．特記なき限り、ブラインドボックス、カーテンボックスは、特－３－３２による。
９．特記なき限り、ルーフドレン回りは特－５－３２による。
１０．鋼製間仕切り下地に取り付く手スリの裏面補強は、　鋼板ｔ＝０．８　Ｗ＝１５０通しとする。
１１．ＧＢ－　は，全てホルムアルデヒド吸収･分解型（吉野石膏㈱ハイクリンボード同等品）とする。
１２．特記以外の材料の厚さは右表による。さらに特記仕様書による。
１３．特記なき限り、幅木の高さは６０mmとする。
１４．特記なき限り、天井及び壁取合い、下がり壁は特－２－２３、特－３－１１、特－３－１２による。
１５．しゃ音壁の位置は平面図による。
１６．せっこうボード等の壁の出隅部分のコーナー保護金物は亜鉛鉄板製穴明きＬ形金物とする。
１７．特記なき限り、ＯＡフロアを敷設する場合の床下地は、コンクリート直均しとする。
１８．コンクリート打放し型枠区分　　Ｂ種：外壁及び内部表し部分　　Ｃ種：軒天及び内部見え隠れ部分
１９．コンクリート打放し出隅・コンクリート目地は特－２－０２による。
２０．接着材は、ＶＯＣ（揮発性有機化学物質）、ＴＶＯＣ（トータルＶＯＣ）とも、厚生労働省室内空気指針値以下とする。
　　厚生労働省の室内空気指針値物質（13物質）：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロルベンゼン、
　　エチルベンゼン、スチレン、クロルピリホス、ＤＢＰ、テトラデカン、ＤＥＨＰ、ダイアジノン、アセトアルデヒド、
　　フェノルカルブ　以上

略号

ボード類
- ＦＫ　無石綿セメントけい酸カルシウム板
- ＰＦ　ポリスチレンフォーム保温板
- ＧＢ－Ｒ　せっこうボード
- ＧＢ－Ｄ（Ｔ）　化粧せっこうボード（トラバーチン模様）
- ＧＢ－Ｄ（Ｗ）　化粧せっこうボード（木目模様）
- ＧＢ－Ｓ　シージングせっこうボード
- ＧＢ－Ｆ　強化せっこうボード
- ＤＲ　ロックウール化粧吸音板
- 押成板　押出成形セメント板

金属板
- 耐酸メタル　耐酸耐アルカリ被覆鋼板

複層塗材
- ＣＥ　複層仕上塗材　ポリマーセメント系
- ＲＥ　複層仕上塗材　反応硬化形合成樹脂エマルション系
- ＲＳ　複層仕上塗材　合成樹脂溶液系
- Ｅ　複層仕上塗材　合成樹脂エマルション系
- Ｓｉ　複層仕上塗材　けい酸質系

張物
- ＶＴ　塩ビタイル
- ＶＳ　長尺塩ビシート
- ＴＣＰタイルカーペット
- ＨＴ　ホモジニアスビニル床タイル
- ＣＦ　クッションフロア
- ＶＣ　ビニルクロス

外装薄塗材
- Ｅ　薄付け仕上塗材　外装合成樹脂エマルション系
- Ｃ　薄付け仕上塗材　外装セメント系

内装薄塗材
- Ｅ　薄付け仕上塗材　内装合成樹脂エマルション系
- Ｃ　薄付け仕上塗材　内装セメント系
- Ｓｉ　薄付け仕上塗材　内装けい酸質系

塗料
- ＳＯＰ　合成樹脂調合ペイント塗り
- ＥＰ　合成樹脂エマルションペイント塗り
- Ｔ－ＥＰ　合成樹脂エマルション模様塗料塗り
- ＭＰ　多彩模様塗料塗り
- ＶＥ　塩化ビニル樹脂エナメル塗り
- ＡＥ　アクリル樹脂エナメル塗り
- Ｇ－ＥＰ　つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り
- ＦＥ　フタル酸樹脂エナメル塗り
- ＬＣ　クリヤラッカー塗り
- ＯＳ　油性ステイン塗り
- ＦＰ　フッ素樹脂ペイント
- ＡＥＰ　アクリルエマルジョンペイント
- ＶＰ　塩化ビニールペイント

タイル
- ＣＴ　クリンカータイル（磁器質無釉）
- ＭＯ　モルタル

材料の厚さ

材料名	壁（mm）	天井（mm）	備考
ＧＢ－Ｒ・ＧＢ－Ｓ	12.5	9.5	二重張りの場合の壁下地はGB-F 15.0mm
ＧＢ－Ｄ（Ｔ）・ＧＢ－Ｄ（Ｗ）		9.5/12.5	
ＤＲ		9/15	天井下地はＧＢ－Ｒ　9.5mm
ロックウール吹付け	10	10	一般用を示し耐火被覆は特記による
ＦＫ		6	0.8ＦＫまたは1.0ＦＫ
ロックウール吸音ボード１号	50	50	ＪＩＳ　Ａ　６３０１　RW－Ｂ
グラスウール吸音ボード２号３２Ｋ	25	25	ＪＩＳ　Ａ　６３０１　GW－Ｂ
硬質木毛セメント板	25	25	ＪＩＳ　Ａ　５４０４　HW
普通木毛セメント板	25	25	ＪＩＳ　Ａ　５４０４　NW
ポリエステル樹脂化粧板	2.5		
メラミン樹脂化粧板	1.2		ＪＩＳ　Ｋ　６９０３
内装水溶性樹脂系薄付仕上塗材（珪藻土）	3	3	ＪＩＳ　Ａ　６９０９

壁仕上げ一覧

~~・ＬＧＳ下地巾は、特記なき場合はＷ－６５とする。~~
~~・管理部門の間仕切壁は遮音性能を上げるため、ＬＧＳ６５＋グラスウール（24Kg/m³）t=50）充填とする。~~
~~・特記なき目透かし部の小口は同色塗装とし、目地底は硬質塩ビシート（サンゲツ　リアテック同等品）貼りとする。~~

《内装制限について》
調理室仕上げ（1.2m以下の腰壁･床除く）は準不燃以上とする

※塗料、木建、接着剤、塗り床材、フローリング、ボード類全般、壁紙、断熱材、及びユリア樹脂又はメラミン樹脂等を使用した材料のホルムアルデヒドの発散量は　Ｆ☆☆☆☆等級以上とする。
※小屋裏、床裏、壁裏の使用材料はＦ☆☆☆等級以上とする。

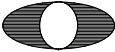
防火材料（国土交通大臣認定品）

材料	区分・認定番号
せっこうボード　t=12.5/15.0	不燃　ＮＭ－８６１９
せっこうボード　t=9.5	準不燃　ＱＭ－９８２８
シージングせっこうボード t=9.5/12.5/15.0	準不燃　ＱＭ－９８２６
t=12.5/15.0/21.0	不燃　ＮＭ－９６３９
強化せっこうボード　t=12.5/15.0/21.0	不燃　ＮＭ－８６１５
化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	準不燃　ＱＭ－９８２４ 不燃　ＮＭ－８６１３
化粧せっこうボード（木目模様）	準不燃　ＱＭ－９８２４ 不燃　ＮＭ－０１２７
ロックウール化粧吸音板	不燃　ＮＭ－８５９９
グラスウール吸音材	不燃　ＮＭ－８６０４
無石綿セメントけい酸カルシウム板	不燃　ＮＭ－８５７８
無石綿セメント化粧けい酸カルシウム板	不燃　ＮＭ－８５７９
天然木単板張ノンアスベスト板	不燃　ＮＭ－８３００
木毛セメント板	準不燃　ＱＭ－９７０１

※上記のほか個別認定品も可とする。ただし品質証明書を提出すること。

耐火性能表
（準耐火構造）

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護･福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	仕上表	Non scale ※A3は50%縮小	2008.09.26			株式会社　泉設計事務所	一級建築士事務所登録（上伊）E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265（72）7367　FAX 0265（72）7369	SHEET NO D ―― 008

桁行方向見付面積　Ｓ_A	
張り間方向見付面積　Ｓ_B	
桁行方向見付面積　Ｓ_C	61.72m²
張り間方向見付面積　Ｓ_D	32.40m²

凡例	外装仕上(参考品番同等品)
Ⓐ	基礎立上り：鋼製型枠コンクリート(表面補修薄塗り)
Ⓑ	上部壁：窯業系サイディングt=14(ASAHITOSTEM ATWALL12RWまとい、よもぎ色)
Ⓒ	腰壁：窯業系サイディングt=15(ASAHITOSTEM ATWALL15Fウッドボーダー４、ブラウンⅡ色)、出隅：同質ワイド出隅
Ⓓ	大屋根：長尺一文字葺き(ガルバリウム鋼板)t=0.4　雪止め：溶融亜鉛メッキＬ-45アングル２段
Ⓔ	ケラバ包み･棟包み･雨押え･破風･鼻隠し･壁基礎水切り：ガルバリウム鋼板t=0.4曲げ加工
Ⓕ	化粧梁･化粧柱･化粧装飾格子：対候性アクリル(梁W210、柱W180･150)
Ⓖ	小屋裏換気口：アルミ製ガラリ150□(SUS防虫ネット付き)
Ⓗ	軒樋･縦樋：塩ビ製既製品φ60、塩ビ製既製品
Ⓘ	庇屋根：瓦棒角型葺き(ガルバリウム鋼板)t=0.4　雪止め：溶融亜鉛メッキＬ-45アングル１段

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護･福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	立面図	1:100 ※A3は71%縮小	2008.09.26			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO D —— 010

図面ファイル名：D010～011立面・断面図(三日町上町)　最終保存日時：2008/09/26 11:18:16　プリンタ出力 2008.9.26

Ｙ方向断面図　1：100

Ｘ方向断面図　1：100

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護･福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	断面図	1:100 ※A3は71%縮小	2008.09.26			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO D —— 011

図面ファイル名：D010～011立面・断面図(三日町上町)　最終保存日時：2008/09/26 11:18:16　プリンタ出力 2008. 9.26

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	矩計図(1)	1:30 ※A3は71%縮小	2008.09.26			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO D —— 012

図面ファイル名：D012～013矩計図(三日町上町)　最終保存日時：2008/09/26 10:17:50　プリンタ出力 2008. 9.26

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図
	平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	矩計図(2)	1:30 ※A3は71%縮小	2008.09.26		

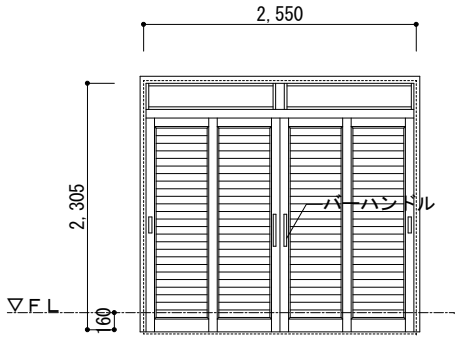
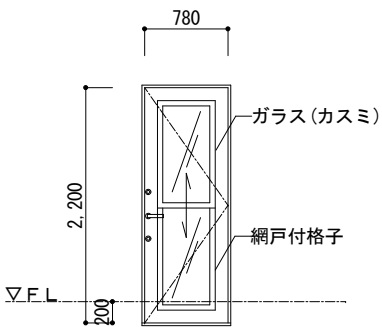
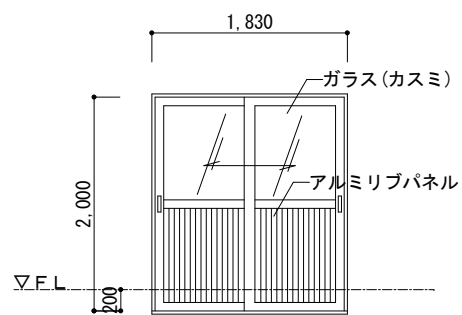
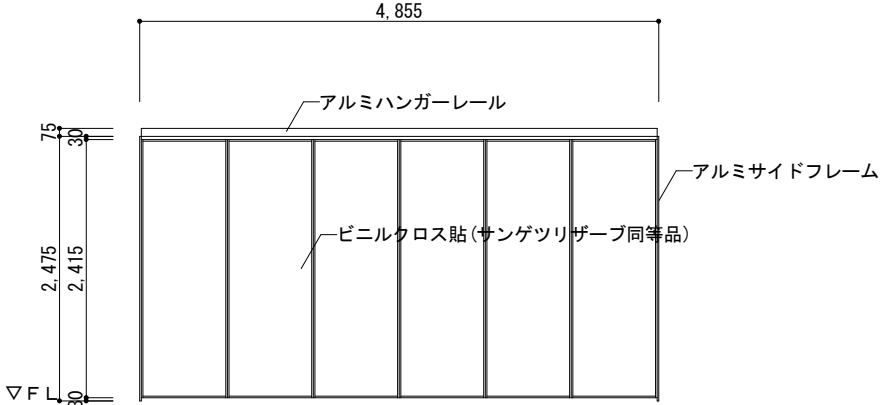
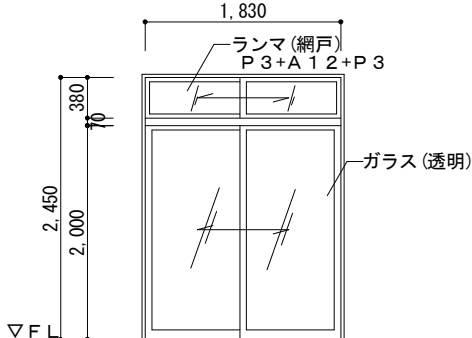
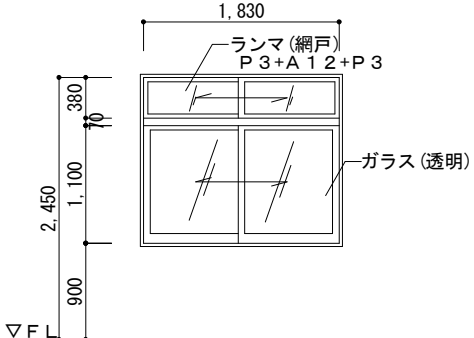
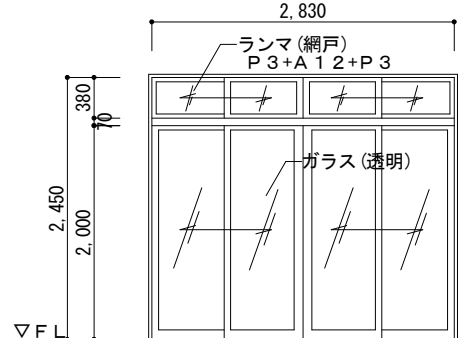
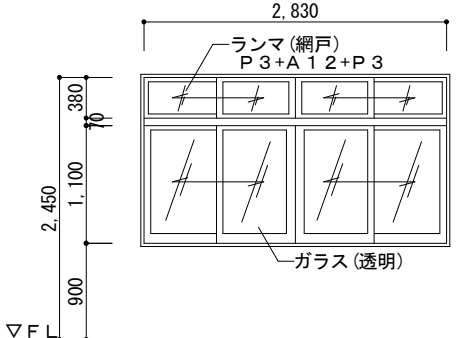
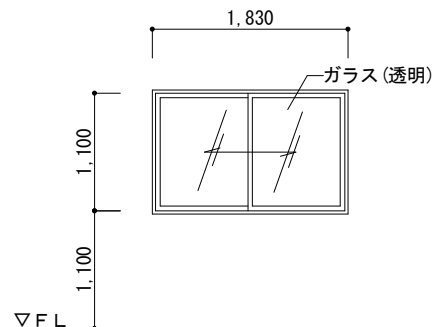
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369

管理番号
SHEET NO D —— 013

A面 展開図（トレーニングルーム）
B面 展開図（トレーニングルームA）
C面 展開図（トレーニングルーム）
D面 展開図（トレーニングルームA）
B面 展開図（トレーニングルームB・C共通）
A面 展開図（控室）
B面 展開図（控室）
C面 展開図（控室）
トレーニングルーム
控室
【トレーニングルームC】
【トレーニングルームB】
【トレーニングルームA】
【トレーニングルームB・C】
【控室】
収納内部仕上げはトレーニングルームに準ずる
天井：ビニルクロス貼
ピクチャーレール
壁：ビニルクロス貼
木製廻縁H=35
木製巾木：H=60
枕棚
収納
中段棚
スライディングウォール
化粧額縁（既製品）
カーテンレール（本工事）
レース・遮光ドレープ（本工事）
ミラー扉
スライデングウォールレール
スライデングウォール
仕上げ：ビニルクロス貼
CH=2,600
CH=2,500
▽1FL
14,000
5,000
特記事項
工事名称
平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE
展開図(1)
SCALE
1:50
※A3は71%縮小
DATE
2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録　第204029号
管理建築士　有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO
D — 014
最終保存日時2008/09/26 10:27:33
プリンタ出力 2008.9.26

調理室
A面 展開図（調理室）
B面 展開図（調理室）
C面 展開図（調理室）
【調理室】
【勝手口】
天井：GB-D（T）
塩ビ廻縁
壁：ビニルクロス貼
ブラインド横型（本工事）
化粧額縁（既製品）
※ユニットキッチン
コンロＩＨｘ２口
塩ビ巾木：H=60
付框：タモ集成
勝手口床：コンクリート金ゴテ押え
WWC
A面 展開図（WWC）
B面 展開図（WWC）
C面 展開図（WWC）
D面 展開図（WWC）
【WWC】
腰見切り：メタカラー
内装タイル100□
巾木タイル100□
モザイクタイル25□（グレー）
INAXインテリアモザイク ニュアンス
モザイクタイル25□（フロスト）
INAXインテリアモザイク ピッキ
MWC
A面 展開図（MWC）
B面 展開図（MWC）
C面 展開図（MWC）
D面 展開図（MWC）
【MWC】
ライニング天板
特記事項
工事名称
平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE
展開図(2)
SCALE
1:50
※A3は71%縮小
DATE
2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO
D —— 015
最終保存日時2008/09/26 10:27:33
プリンタ出力 2008.9.26

【外部物置】
【控室】
【WWC】
【多目的WC】
【MWC】
7.20m²
踏込
【勝手口】
土間
(−200)
W=1,900×H=1,200
流し台(本工事)
IH
付け框：銘木練り付け集成材
冷蔵庫(備品)
調理作業台
【調理室】
灯油タンク 250L
灯油ボイラー
水勾配
外部物置上部棚
(−200)
木製手摺φ36
スロープ
(H≦160勾配1/8)
タイル張100□
上り框
掲示板 1,000×1,000
シングルレバー
集成カウンター
【ポーチ】
【玄関】
(−160)
スノコ
【玄関ホール】
(±0)
床仕上：タイル張り100□
(−530)
(−350)
(−200)
(−180)
下足棚
郵便受け
インターホン
床下点検口 600□ 開口補強
施設名看板
外部掲示板
収納
中段棚
枕棚
【スロープ】
スロープ(勾配≦1/12、内法≧120cm)
アルミ手摺
H=800
アンカー固定
(−550)
誘導表示
タイル300□
【トレーニングルームC】
【トレーニングルームB】
【トレーニングルームA】
▽可動間仕切り
W=2,100×H=2,500
W=2,100×H=1,600
W=3,100×H=2,500
W=3,100×H=1,600
FF(機器は本工事)
エアコンスリーブ(電気設備工事)
アース付きコンセント
(−400)
【犬走り】
(−420)
14,000
4,000
6,000
2,000
2,200
1,800
1,500
1,600
5,000
3,500
5,500
11,000
凡例 仕様(参考品番同等品)
消 消火器 ABC10型(+表示プレート) 2本
室名札 アクリルパネル150□t=5 カッティングシート
ピクト アクリルパネル150□t=5 カッティングシート
ブラインド 鋼製横型ブラインドW=1,900×H=1,200
木製手摺 既製木製手摺φ36(ブラケット支持)
カーテン レース+ドレープ(遮光タイプ)
郵便受け アルミ既製品落し口+内部木額縁
調理作業台 引出付調理台：900×450×H800 SUS304
凡例 仕様(参考品番同等品)
Ⓐ 外部掲示板 1210壁掛けタイプBDフロートガラス、グリーンボード(三協立山アルミ同等品)
Ⓑ 内部掲示壁 木製見切りW=1,000×H=1,000+掲示クロス張(下地は合板t=12)
Ⓒ 集成カウンター 集成材(ウレタン塗装)：750×300×30(R加工)(詳細図参照)
Ⓓ 下足棚 タモ集成材(詳細図参照)
Ⓔ スノコ 杉板(詳細図参照) L=2,000×W=400、L=1,800×W=400
Ⓕ 外部物置上部棚 上部棚L=2,380×300(タモ集成材t=30)(詳細図参照)
Ⓖ 収納棚 中段棚L=1,880×600(押入中段棚)、枕棚L=1,880×300(押入枕棚)
Ⓗ 上り框 花崗岩本磨き(御影石)120×150
Ⓘ 玄関内スロープ天板 花崗岩本磨き(御影石)25×100
Ⓙ 付け框 銘木練り付け集成材(既製品)30×150
Ⓚ 施設名看板 木板(施設名記入)W=300×H=1,500×t=30
内部一般図 1:50
特記事項
工事名称 平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE 内部一般図・詳細図(1)
SCALE 1:50 ※A3は71%縮小
DATE 2008.09.27
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
SHEET NO D — 017
図面ファイル名：D017~018内部一般図(三日町上町)
最終保存日時：2008/09/27 15:54:40
プリンタ出力 2008.9.27

※現場採寸調整
1,800
427.5
900
900
320
集成材　ウレタン塗装(クリア)
ELEVATION
SECTION
▽ＦＬ
▽玄関ＦＬ
下足棚
1/20
タモ集成材　ウレタン塗装(クリア)
750ｘ300ｘ30(Ｒ加工)
ブラケット支持ｘ１
壁側はのみ込み
SECTION
集成カウンター
1/10
類杖集成材t=30@500
タモ集成材　ウレタン塗装(クリア)
750ｘ300ｘ30(Ｒ加工)
SECTION
外部物置上部棚
1/10
1,800
2,000
400
杉板W=95ｘt=15
杉30ｘ45@200以下
ELEVATION
SECTION
L=2,000ｘW=400　-　１箇所
L=1,800ｘW=400　-　１箇所
スノコ
1/20
タイルカーペット500□t=6～6.5
捨て合板t=6
構造用針葉樹合板t=28
▽ＦＬ
▽土台･大引き天端
長尺塩ビシートt=2～2.5
捨て合板t=9
構造用針葉樹合板t=28
※タイルカーペットの場合
※長尺塩ビシートの場合
内部床納まり詳細
1/5
特記事項
工事名称
平成20年度　地域介護･福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE
内部一般図･詳細図(2)
SCALE
1:50
※A3は71%縮小
DATE
2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録　第204029号
管理建築士　有賀　修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO
D —— 018
最終保存日時：　2008/09/26 10:25:52
プリンタ出力　2008. 9.26

【外部物置】
【控室】
CH=2,500
【WWC】
CH=2,500
【多目的WC】
CH=2,500
【MWC】
CH=2,500
踏込
CH=2,500
【調理室】
CH=2,500
※内装制限:準不燃以上
【ポーチ】
【玄関】
【玄関ホール】
CH=2,500
天井換気扇開口補強
２箇所
天井換気扇開口補強
１箇所
天井点検口:□450
アルミ縁
化粧垂木あらわし45x90@300
一部下梁あらわし
ピクチャーレール
【トレーニングルームC】
CH=2,600
【トレーニングルームB】
CH=2,600
【トレーニングルームA】
CH=2,600
収納
CH=2,600
▽可動間仕切り
遮音スライディングウォール
梁下端:FL+2,550
一部下梁あらわし
スライディングウォールハンガーレールを示す
カーテンレール(ダブル)
展開表示
凡例 天井仕上(参考品番同等品)
木製 木製廻り縁H=30(既製品)
塩ビ 塩ビ廻り縁(フクビ同等品)
ピクチャーレール(アルミ既製品)耐荷重8kg品 フック個数は２個/mを標準とする
移動間仕切りハンガーレール
アルミ既製品カーテンレール(ダブル)
凡例 天井仕上(参考品番同等品)
Ⓐ GB-D(T)t=9.5(化粧石膏ボードトラバーチン模様)910□
Ⓑ ビニルクロス(サンゲツリザーブ同等品)
Ⓒ 無石綿セメントけい酸カルシウム板t=5(突付けV溝)EP塗装 一部有孔板φ6(20%程度)
Ⓓ 梁・丸柱・化粧垂木ウレタン塗装、化粧野地合板t=12あらわし
Ⓔ ラワン合板(耐水ベニヤ)t=5.5
天井伏図 1:50
工事名称 平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE 天井伏図
SCALE 1:50 ※A3は71%縮小
DATE 2008.09.24
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
SHEET NO D —— 019
最終保存日時: 2008/09/24 18:12:05

建具符号
取付場所・箇所数
仕上げ・見込み
ガラス
金　物
備　考
形　状
寸　法(mm)
1 AD
玄関 1
アルミ製４枚建戸
Ｐ３+Ａ１２+Ｆ４
標準取付け金物一式、ハンドルセット
ドライ枠(ランマ付き)、シリンダー/サムターン
網戸
TOSTEM横格子エルミナＫ３　ドライ仕様同等品
ハンドル・ロックセット現場指示
2,550
2,305
160
バーハンドル
▽ＦＬ
2 AD
キッチン(勝手口ドア) 1
アルミ勝手口ドア
Ｐ４+Ａ６+Ｆ４
標準取付け金物一式、レバーハンドル、ＤＣストップ有
シリンダー/サムターン
土間納り下枠ＳＵＳカバー、網戸付格子
住宅用07822規格
ハンドル・ロックセット現場指示
780
2,200
200
ガラス(カスミ)
網戸付格子
3 AD
外部物置 1
アルミ引違いサッシ
Ｆ４
標準取付け金物一式
アルミ額縁、シリンダー/サムターン
土間納り下枠ＳＵＳカバー
1,830
2,000
200
ガラス(カスミ)
アルミリブパネル
1 LD
トレーニングルーム 2
移動間仕切り、表面材:ラワン合板(別途クロス貼) 50mm
なし
標準取付け金物一式、サイドフレーム、アルミハンガーレール
三和シャッター　スライディングウォール50(スタンダードタイプ)　同等品
4,855
アルミハンガーレール
アルミサイドフレーム
ビニルクロス貼(サンゲツリザーブ同等品)
75
30
2,475
2,415
30
1 AW
トレーニングルームＣ 1
アルミ引違い+ランマ引違い窓
Ｐ４+Ａ１２+Ｐ４
標準取付け金物一式、クレセント、網戸(合成樹脂)
1,830
ランマ(網戸)
Ｐ３+Ａ１２+Ｐ３
ガラス(透明)
380
70
2,450
2,000
2 AW
トレーニングルームＢ 1
アルミ引違い+ランマ引違い窓
Ｐ３+Ａ１２+Ｐ３
標準取付け金物一式、クレセント、網戸(合成樹脂)
1,830
380
70
1,100
2,450
900
3 AW
トレーニングルームＡ 1
アルミ４枚建窓+ランマ４枚建窓
Ｐ４+Ａ１２+Ｐ４
標準取付け金物一式、クレセント、網戸(合成樹脂)
2,830
380
70
2,450
2,000
4 AW
トレーニングルームＡ 1
アルミ４枚建窓+ランマ４枚建窓
Ｐ３+Ａ１２+Ｐ３
標準取付け金物一式、クレセント、網戸(合成樹脂)
2,830
380
70
1,100
2,450
900
5 AW
調理室 3
アルミ引違いサッシ
Ｐ３+Ａ１２+Ｐ３
標準取付け金物一式、クレセント、網戸(合成樹脂)
アルミ額縁
住宅用18211規格
1,830
ガラス(透明)
1,100
1,100
共通事項
1. 特記なき限り、木製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、重量シャッターの仕上げはＳＯＰとする。
2. 特記なき限り、木製戸・鋼製戸の見込みは４０mm、鋼製軽量戸は３５～４０mmとする。
3. ＤＣ、ＦＨ、ＨＣは平面図又は建具位置図による。
4. 煙感知器連動装置付き(別途)に取付けるＤＣ、ＦＨ、ＨＣはストップなしとする。
5. 特記なき限り、ＤＣはパラレル型とし、１８０°開きの場合は、戸当たり・あおり止めはなしとする。
6. 特記なき限り、内部はモノロックとし形式は下表による。
室外 / 室内 / 室名
シリンダー / 押しぼたん / 一般室及び下記以外の室
シリンダー / 空錠 / 書庫、倉庫、物品庫、油庫など
空錠 / 空錠 / 湯沸室、掃除具入など
非常装置付空錠 / 押しぼたん / 浴室など
7. 特記なき限り、外部はシリンダー箱錠(内側サムターン)とする。ただし、押板、とっ手の場合はシリンダー本締錠(内側サムターン)とする。
8. 鋼製軽量建具で簡易気密ドアの縦小口包板(クロロプレンスポンジゴムとの取合い)の材質はステンレス鋼板とする。
9. 既製間仕切に含まれる建具は建具表に含まない。
10. 特記なき限りかまち戸及びかまち及び鏡板の樹種は、共通仕様書表16.6.2 定規縁、化粧縁、額縁、ガラリに規定する樹種とする。
11. 特記なき限り衝突防止表示の材質は、ステンレス鏡面約φ３０@３００程度とし、位置は建具形状図による。
12. 特記なき限り非常進入口の表示(一辺２０cmの正三角形)は、カッティングシートにより位置は立面図による。
13. 特記なき限り、レバーハンドルの場合は、シリンダー本締錠とする。
14. 標準型鋼製建具の出入口(くつずりを除く)の鋼板は表面亜鉛めっき鋼板とする。
15. 標準型鋼製建具の鋼板厚さは下記による。
枠類(くつずり以外) : １．６mm(鋼板)
枠類(くつずり) : １．５mm(ステンレス鋼板)
戸の中骨 : １．６mm(鋼板)
外部用上水切の板 : １．６mm(鋼板)
16. 標準型鋼製軽量建具の戸の鋼板は、特記なき限り亜鉛めっき鋼板とする。
17. 標準型鋼製軽量建具の鋼板厚さは下記による。
枠類(くつずり) : １．５mm(ステンレス鋼板)
戸(表面板) : ０．６mm
戸(表面板以外) : ０．６mm以上
18. 標準型建具の建具金物は、製造所指定の付属品とする。
レバーハンドル:アルミ製　シルバー
ドアクローザー:露出タイプ　シルバー
丁番:建具Ｈ≧２．０００の旗丁番は、３枚とする
がらり
(1)外部用 (2)内部用 (3)内部用
有効率約３０% 有効率約３５% 有効率約２５%
建具 がらりの種類
ＡＤ ※ＡＧ ・
ＳＤ ※ＳＧ ・ＡＧ ・
ＬＤ ※ＳＧ ・ＡＧ ・
特記事項
※. 自動ドアは、外側センサー式+補助センサー・内部タッチスイッチを標準取付とする。
※. 自動ドアは、衝突防止表示シールを標準取付とする。
※. 排煙オペレーター取付位置は、現場指示(ＦＬ+Ｈ≦1,500)とする。
※. ＡＷ・ＡＤ木製額縁の場合、標準付属一式にはアルミアングルピースを標準取付とする。
※. ＡＷ納まり方によっては　標準付属一式にはアルミ水切皿板を標準取付とする。
※. ＳＤの場合、内外共戸当りを標準取付とする。
※. 木製建具の建具枠は建具仕上げと同材とする。
※. WD引き戸の場合、Ｖ溝レールを標準取付とする。
※. Ｐ・Ｈの場合、敷居スベリ(シリコンシール)を標準取付とする。
※. 多目的WCは、ハンガーユニット・自閉装置・ストップ機能を標準取付とする。
※. WCドアを引き戸とする場合は、ＳＵＳフラットレールを標準取付とする。
※. トイレブースは、頓木ＳＵＳ　Ｈ=６０・表示付き錠を標準取付とする。
※. シリンダー錠は、ロータリーディスクタンブラーシリンダー錠を標準とする。
※. 網戸は、合成樹脂網戸を標準とする。
※. ＬＨ・丁番・ＤＣ等の見え掛りとなる金物は、シルバー色ＨＬを標準とする。
※. 外部ドア・サッシは、気密Ａ－４水密W－５を標準とする。
※基本はメーターモジュール
建具略号
種別 / 戸 / 窓 / がらり / 障子 / ふすま / シャッター
アルミ製 / ＡＤ / ＡW / ＡＧ / ＡＰ / ＡＨ /
鋼製 / ＳＤ / ＳW / ＳＧ / / / ＳＳ
軽量鋼製 / ＬＤ / / / / / ＬＳ
ステンレス製 / ＳＳＤ / ＳＳW / ＳＳＧ / / / ＳＳＳ
木製 / WＤ / WW / WＧ / Ｐ / Ｈ /
ガラス種別略号
Ｐ フロート板ガラス / ＨＲ 熱線反射ガラス
Ｆ 型板ガラス / ＰＧ 複層ガラス
ＮＰ 網入り板ガラス / ＨＡＰ 熱線吸収フロート板ガラス
ＮＦ 網入り型板ガラス / ＨＡＮＰ 熱線吸収網入り磨き板ガラス
WＰ 線入り板ガラス / ＨＡＮＦ 熱線吸収網入り型板ガラス
WＦ 線入り型板ガラス / Ｌ 合わせガラス
建具金物略号
ＤＣ ドアクローザ / ＬＨ レバーハンドル
ＤＳ 戸当り / ＧＨ 握り玉
ＦＨ フロアヒンジ / ＰＰ 引き棒・押棒・押板
ＰＨ ピボットヒンジ / ＤＰ 引き手
ＨＣ ヒンジクローザ
金物・備考
金物欄記入事項
・三方枠・下枠・沓ずりの仕様 ・ハンガーユニットの仕様
・額縁の種類(アルミ・ＳＵＳ・木) ・網戸の種類(ＳＵＳの場合)
・オペレーター仕様(隠蔽の場合)
・自閉装置・センサー類の仕様
備考欄記入事項
・防火戸の仕様(常時閉鎖・煙感連動・特定防火・防火等)
・エアタイト(防音)の仕様
・アルミ・樹脂複合サッシの仕様
・既製品は参考品名記入
形状図記入事項
・枠の内法寸法
・がらりの寸法
・アンダカットの寸法
・衝突防止表示シール位置
特記事項
工事名称
平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE
建具表(1)
SCALE 1:50
※A3は71%縮小
DATE 2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録　第204029号
管理建築士　有賀　修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO
D ── 020
図面ファイル名:D020～021建具表(三日町上町公民館)
最終保存日時: 2008/09/26 10:30:54
プリンタ出力 2008.9.26

建具符号	6 AW	7 AW	1 TB	2 TB	3 TB
取付場所･箇所数	ＭＷＣ、ＷＷＣ、他目的ＷＣ　4	外部物置、控室　2	ＷＷＣ　1	ＭＷＣ　1	ＭＷＣ、ＭＷＣ　2
仕上げ･見込み	アルミ上げ下げ窓	アルミ上げ下げ窓	アルミエッジトイレブース　ポリ合板	アルミエッジトイレブース　ポリ合板	アルミエッジトイレブース　ポリ合板
ガラス	Ｆ４+Ａ１２+Ｐ３	Ｆ４+Ａ１２+Ｐ３	なし	なし	なし
金　物	標準取付け金物一式、クレセント、網戸(合成樹脂) アルミ額縁	標準取付け金物一式、クレセント、網戸(合成樹脂)	標準取付け金物一式　ＳＵＳ巾木、Ｒエッジ、表示錠	標準取付け金物一式　ＳＵＳ巾木、Ｒエッジ、表示錠	標準取付け金物一式　ＳＵＳ巾木
備　考	住宅用03611規格	住宅用06013規格	三和ＴＡ４０同等品	三和ＴＡ４０同等品	三和ＴＡ４０同等品
形　状 寸　法(mm)					

建具符号	1 WD	2 WD	3 WD	4 WD	5 WD
取付場所･箇所数	トレニングルームＢ･Ｃ　2	調理室　2	トレニングルームＡ　1	多目的ＷＣ　1	ＭＷＣ、ＷＷＣ　2
仕上げ･見込み	既製木製引違い戸、化粧シート張	既製木製引違い戸、化粧シート張	既製木製片引戸、化粧シート張	既製木製３本引戸(連動方式)、化粧シート張	既製木製引戸、化粧シート張
ガラス	４mmカスミガラス組込	４mmカスミガラス組込	４mmカスミガラス組込	なし	４mmアクリルパネル組込
金　物	標準取付け金物一式、床見切り材、両側手掛け 錠ナシ	標準取付け金物一式、床見切り材、両側手掛け 錠ナシ	標準取付け金物一式、床見切り材、両側手掛け 錠ナシ	標準取付け金物一式、埋込敷居、両側バーハンドル 大型サムターン表示錠、明り窓	標準取付け金物一式、埋込敷居、両側バーハンドル 錠ナシ
備　考	カラー：ショコラ、ノンケーシング三方枠171 TOSTEM(WL)同等品	カラー：ショコラ、ノンケーシング三方枠171 TOSTEM(WL)同等品	カラー：ショコラ、ノンケーシング三方枠171 TOSTEM(WL)同等品	カラー：ショコラ、ノンケーシング三方枠171 TOSTEM(WL)同等品	カラー：ショコラ、ノンケーシング三方枠171 TOSTEM(WL)同等品
形　状 寸　法(mm)					

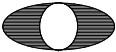
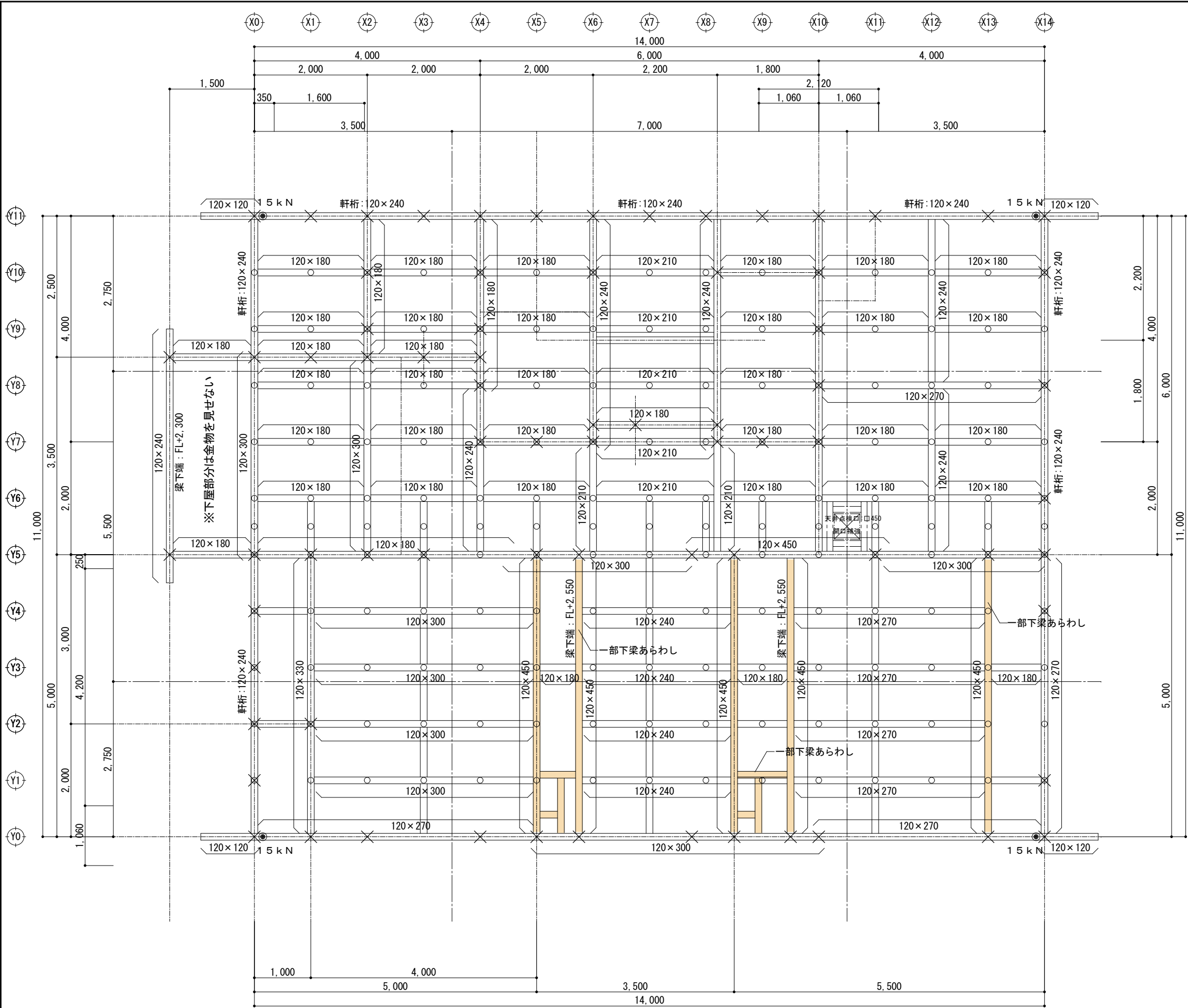
建具符号	6 WD	7 WD	8 WD		
取付場所･箇所数	控室　1	トレーニングルームＣ　1	トレーニングルームＣ　1		
仕上げ･見込み	既製木製片開きフラッシュドア	既製折れ戸	既製折れ戸		
ガラス	なし	なし	なし		
金　物	標準取付け金物一式、レバーハンドル 表示錠、沓摺りナシ	標準取付け金物一式、把手、薄下枠14、フリーヒンジ ミラー付き扉	標準取付け金物一式、把手、薄下枠14、フリーヒンジ ミラーナシ		
備　考	カラー：ショコラ、ノンケーシング三方枠171 TOSTEM(WL)同等品	カラー：ショコラ、ノンケーシング三方枠 TOSTEM(WL)同等品	カラー：ショコラ、ノンケーシング三方枠 TOSTEM(WL)同等品		
形　状 寸　法(mm)					

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護･福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	建具表(2)	1:50 ※A3は71%縮小	2008.09.26			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO D —— 021

図面ファイル名：D020～021建具表(三日町上町公民館)　最終保存日時：2008/09/26 10:30:54　プリンタ出力 2008.9.26

境界：既存コンクリブロック有
25.01
△敷地境界線
砕石敷き
ＰＣ桝：300□
グレーチング（Ｔ－２）
塩ビ点検桝
ＶＰ100φ
水勾配
【ポーチ】
1,500
11,000
14,000
1,499.03
2,000
3,888.1
4,200
【スロープ】
誘導表示
タイル300□
コンクリート刷毛引き
既設電柱
既存植樹撤去・処分
乗入
6,000
6,400
7,800
500
11.67
4.41
道路側溝（VS500）
▽道路中心線
▽道路境界線
水路
24.14
19.66
△仮囲い設置範囲
△敷地境界線
1876-1の私道接道部
（Ａｓ舗装）
前面道路
主要地方道伊那・辰野Ｔ線
（竜頭線）
24.119298°
・建物下となる部分の耕土(D=300)撤去処分
・駐車場下となる部分の耕土(D=200)撤去処分
・砕石舗装となる部分の耕土(D=100)撤去処分
・敷地境界沿いに仮囲いを設置する(シート張りH=2.0m存置期間３ヶ月程度)
外構平面図　1：100
敷地境界線を示す
Ａｓ舗装範囲を示す　砕石舗装
119.79m²
再生アスファルト混合物
又はアスファルト混合物
（※カラー舗装材も同様）
プライムコート　ＰＫ－３
路盤材：再生クラッシャラン
クラッシャラン又は
クラッシャラン鉄鋼スラグ
Ｔ（mm）：150, 250, 350
標準詳細図番号（９－２１－１）
標準詳細図番号（９－２２－１）
（車道部）
アスファルト舗装　1/20
路盤材：再生クラッシャラン
クラッシャラン又は
クラッシャラン鉄鋼スラグ
砕石敷き　1/20
特記事項
工事名称　平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE　外構平面・詳細図(1)
SCALE　1:20　1:100
※A3は71%縮小
DATE　2008.09.27
検図
製図
株式会社　泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録　第204029号
管理建築士　有賀　修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO　D — 022

地先境界ブロック
1/10
コンクリート地先境界ブロック
▽整地面
▽砕石面
▽整地面・植樹地盤面
モルタル
捨てコンクリート
再生クラッシャラン
切込み砂利又は切込み砕石
※敷地境界線沿いの場合
※敷地境界線沿いでない場合
標準詳細図番号
（９－１１－９）
スチールメッシュフェンス
1：20
《一般部分》
《扉部分》
ワイヤメッシュ
（ハイテンション線）
蝶番
両面施錠装置
50.8φ×2.3
60.5φ×3.2
※H＝1,200 1,500の場合
コンクリートブロック基礎：180×180×450
※H＝2,000の場合
図示寸法による現場打ちとする
※ＡＳＡＨＩ UNフェンス 同等品とする
H＝800 1,200 1,500 2,000
雨水浸透桝
1/20
縦樋
鋼製グレーチング（T-2）
ＰＣ集水桝：300, 450, 600
▽舗装・砕石面
建物基礎
再生クラッシャラン
切込み砂利または切込み砕石
W x L共
区画線工
1：50
ピクト表示
文字
ゼブラライン
※ ペイントは全て溶融式実線白色とする。
障害者駐車帯区画線
車止めブロック詳細図
1:10
車止めブロック：ＰＣコンクリート
190 x 600 x H115 既製品
反射レンズ付
アンカー 接着剤併用固定
反射板
アンカーピン M10 2ヶ所
接着剤：水性エマルジョン
（アスファルト・熱可塑性樹脂）
特記事項
工事名称
平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE
外構平面・詳細図(2)
SCALE
1:10
1:50,20
※A3は71%縮小
DATE
2008.09.27
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO
D —— 023

《コンクリートの調合及び強度等》
※コンクリートは住宅金融公庫仕様書に準ずる
基礎に用いるコンクリートの調合及び強度等は、次による。
1 普通コンクリート(JIS A5308によるJIS表示許可工場の製造品)
2 特記が無い場合の設計基準強度(Fc)は、21N/mm²、スランプは18cmとし、呼び強度は下表より指定する。
コンクリートの打ち込みから28日後までの期間の予想平均気温(℃)
10℃以上 15℃未満
2℃以上 10℃未満
呼び強度(N/mm²)
24
27
※コンクリート配合報告書を発注者または監理者に提出し承認を得ること。
※または、国土交通省営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(最新版)に準じて呼び強度を算出してもよい。(6.4.5)(表6.4.1)
※呼び強度＝Fc＋⊿F(品質補正＋3)＋T(温度補正0～＋6)＋1.73σ
温度補正期間は生コンプラントデータに依る。
※基礎パッキンはレベルプレートにて調整を行うこと
土台下端GL+220(FL-160)を標準とする。
KP-L102 t=20(城東テクノ)同等品
または、BMG120 t=14(TANAKA)同等品
タナカ品(t=14)使用の場合は基礎天端GL+220→GL+224とする。
※基礎天端レベルはレベルモルタルt=15にてレベル調整を行うこと
灯油タンク基礎 1,600×1,000
犬走り：コンクリート金ゴテ押え 出隅は面取り(辺寸法20mm)
※建具使用材にて確認
水抜きパイプφ50
スロープ
水勾配
床仕上：タイル張り100□
GL+50
1FL-480
【犬走り】
コンクリート誘発目地
(と) 15.0kN
《凡例》
鋼製床束を示す
基礎立上りを示す W=150
土台 120×120
土台継手位置を示す
大引：105×105@910
アンカーボルト M12 L=400
ホールダウン専用アンカーボルト 埋め込み長さは360mm以上
基礎パッキンなし (一般部基礎天端より＋20mm) (タナカ品の場合は一般部基礎天端より+14mm)
通気口(特記なし)W=500
土間コンクリート t=150 D10-@200 タテヨコ共
基礎伏せ図 1:50
特記事項
工事名称
平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE
基礎伏せ図
SCALE 1:50
※A3は71%縮小
DATE 2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO
W — 001
最終保存日時：2008/09/26 10:40:51
プリンタ出力 2008.9.26

《木工事について》
※ホールダウン金物15kNを、建物4隅の柱頭･柱脚に設置(仕様規定)する。
※土台以外の樹種は、構造用唐松集成材(米松)とする。
※土台の樹種、防腐･防蟻処理は住宅金融公庫共通仕様書に準ずる。
※筋違い端部の金物(内納め筋交いプレート)は図示していませんが、すべての筋交いに必要となります。
※アンカーボルトは、土台切れの箇所、土台継手及び土台仕口箇所の土台端部とし、当該箇所が出隅部分の場合は、出来るだけ柱に近接した位置とする。一般部は@2,700程度とする。
※図中の(い)～(ー)の符号は1階柱脚･柱頭金物を示す。
ただし、通し柱の1階柱頭 2階柱脚金物は取付不要です。
※1階柱頭と2階柱脚金物を兼用する場合の必要耐力は、1階金物に準ずるものとします。
※(と)(ち)(り)(ー)の1階柱脚金物は、ホールダウン金物とする。(座金タイプは不可)
(ー)は35kN用(TANAKA ビス止めホールダウンU35kN同等品)
※(に)(ほ)(へ)の1階柱脚金物は、座金タイプ又はホールダウンコーナー10kN用(ビス止め)とし、金物位置から150mm内外にアンカーボルトを埋込む。
《建築工事凡例》
管柱：120×120
化粧柱：120×120
通し柱：120×120
化粧通し柱：120×120
筋違い：45×90
筋違い：45×90(ダブル)
構造用合板：9.0mm
図示は計算用であり、断熱･気密より外周部は全て合板張
《凡例》
土台 120×120
土台継手位置を示す
大引：105×105@910
アンカーボルト M12 L=400
ホールダウン専用アンカーボルト 埋め込み長さは360mm以上
床合板 構造用針葉樹合板(サネ付) t=28 根太ナシ直張り4周釘打ち、N75@150以下
筋かい 45×90
※建具使用材にて確認
絞り丸太：φ150
床下点検口 600□ 開口補強
筋違い見付け方向を示す
X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14
Y0 Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11
14,000
4,000 6,000 4,000
2,000 2,000 2,000 2,200 1,800
1,500 350 1,600 2,120 1,060 1,060
3,500 7,000 3,500
1,000 4,000
5,000 3,500 5,500
11,000
(と) 15.0kN
(ろ) 3.4kN
(は) 5.1kN
(に) 7.5kN
(い)
1階床伏せ図 1:50
特記事項
工事名称 平成20年度 地域介護･福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE 1階床伏せ図
SCALE 1:50 ※A3は71%縮小
DATE 2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第82081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO W — 002
最終保存日時： 2008/09/26 10:40:51
プリンタ出力 2008.9.26

《木工事について》
※ホールダウン金物15kNを、建物4隅の柱頭･柱脚に設置(仕様規定)する。
※土台以外の樹種は、構造用唐松集成材(米松)とする。
※土台の樹種、防腐･防蟻処理は住宅金融公庫共通仕様書に準ずる。
※筋違い端部の金物(内納め筋交いプレート)は図示していませんが、すべての筋交いに必要となります。
※梁端部の金物(羽子板ボルト)は図示していませんが、すべて必要とします。
※アンカーボルトは、土台切れの箇所、土台継手及び土台仕口箇所の土台端部とし、当該箇所が出隅部分の場合は、出来るだけ柱に近接した位置とする。一般部は@2,700程度とする。
※垂木90×45@455、ひねり金物：外周部は全数取付
※引抜き金物は1階床伏せ図に準ずる
《建築工事凡例》
管柱：120×120
化粧柱：120×120
通し柱：120×120
化粧通し柱：120×120
筋違い：45×90
筋違い：45×90(ダブル)
構造用合板：9.0mm
図示は計算用であり、断熱･気密より外周部は全て合板張
《凡例》
1階柱位置を示す
吊木120×120位置を示す
特記なき軒桁 120×210
特記なき胴差 120×240
特記なき梁 120×150
母屋 105×105 @1,000
棟木 120×150
小屋束 105×105
小屋床合板 構造用針葉樹合板 t=24 根太ナシ直張り4周釘打ち、N75@150以下
※下屋部分は金物を見せない
梁下端：FL+2,300
梁下端：FL+2,550
一部下梁あらわし
天井点検口□450 開口補強
15kN
軒桁：120×240
小屋伏せ図(1) 1:50
特記事項
工事名称 平成20年度 地域介護･福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE 梁伏図
SCALE 1:50 ※A3は71%縮小
DATE 2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO W —— 003
図面ファイル名：W001～004基礎～小屋伏せ図(三日町上町)
最終保存日時： 2008/09/26 10:40:51
プリンタ出力 2008.9.26

《木工事について》
※ホールダウン金物15kNを、建物4隅の柱頭・柱脚に設置(仕様規定)する。
※土台以外の樹種は、構造用唐松集成材(米松)とする。
※土台の樹種、防腐・防蟻処理は住宅金融公庫共通仕様書に準ずる。
※筋違い端部の金物(内納め筋交いプレート)は図示していませんが、すべての筋交いに必要となります。
※梁端部の金物(羽子板ボルト)は図示していませんが、すべて必要とします。
※アンカーボルトは、土台切れの箇所、土台継手及び土台仕口箇所の土台端部とし、当該箇所が出隅部分の場合は、出来るだけ柱に近接した位置とする。一般部は@2,700程度とする。
※垂木90x45@455、ひねり金物：外周部は全数取付
※図中の(い)～(ー)の符号は2階柱頭金物を示す。
垂木:45x90@455
野地合板t=12
ころび止め:45x90@910
化粧垂木:45x90@300
化粧野地合板t=12
《建築工事凡例》
管柱：120×120
化粧柱：120×120
通し柱：120×120
化粧通し柱：120×120
筋違い：45×90
筋違い：45×90(ダブル)
構造用合板：9.0mm
図示は計算用であり、断熱・気密より外周部は全て合板張
《凡例》
1階柱位置を示す
小屋束を示す
母屋を示す
特記なき軒桁 120×210
特記なき胴差 120×240
特記なき梁 120×150
母屋 105×105 @1,000
棟木 120×150
小屋束 105×105
小屋床合板 構造用針葉樹合板 t=24
根太ナシ直張り4周釘打ち、N75@150以下
小屋伏せ図(2) 1:50
特記事項
工事名称 平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE 小屋伏図
SCALE 1:50 ※A3は71%縮小
DATE 2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO W — 004
最終保存日時： 2008/09/26 10:40:51
プリンタ出力 2008.9.26

Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 場 所

2 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	備 考
三日町上町地区 高齢者支えあい拠点施設		1	154. 00	

3 工 事 種 目 (〇印のついたものを適用する。)

建物別及び屋外 / 工事種目	工事種別 屋 内					屋 外
電灯設備	⊙	・	・	・	・	
幹線設備	⊙	・	・	・	・	
動力設備		・	・	・	・	
電熱設備		・	・	・	・	
避雷設備						
受変電設備	・	・	・	・	・	・
自家発電設備	・	・	・	・	・	・
トイレ呼出表示設備	⊙	・	・	・	・	
電話配管設備	⊙	・	・	・	・	
構内交換設備	・	・	・	・	・	
電気時計設備		・	・	・	・	
拡声設備		・	・	・	・	
非常放送設備	・	・	・	・	・	
表示設備	・	・	・	・	・	
インターホン設備	⊙	・	・	・	・	
テレビ共同受信設備	⊙	・	・	・	・	
監視カメラ設備		・	・	・	・	
火災報知設備	⊙	・	・	・	・	
自動閉鎖設備	・	・	・	・	・	
非常警報設備		・	・	・	・	
ガス漏れ警報設備		・	・	・	・	
防 犯 設 備 (配 管)		・	・	・	・	
中央監視制御設備	・	・	・	・	・	
構内配電線路	・					・
構内通信線路	・					・

4 図 面 目 録

番 号		番 号	
1	特記仕様書	26	
2	盤図・姿図	27	
3	幹線・弱電設備図	28	
4	電灯設備図	29	
5	コンセント設備図	30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

Ⅱ 工 事 仕 様

1 共 通 仕 様

(1) 図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修の
電気設備工事共通仕様書(平成16年版) 及び電気設備工事標準図(平成16年版) による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を摘要する。
なお機械設備工事の工事仕様書は(/)図、建築工事の工事仕様書は(/)図による。

2 特 記 仕 様

(1) 項目は番号に〇印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項において選択する事項は、〇印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 器材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。 製造業者等が定められている機材については、設備機材等指定表又は、(社) 公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等によるほか、これらと同等のものとする。ただし、これらの同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 機材の品質・性能証明 使用する機材が設備機材等指定表による製造業者等のもの又は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けたものである場合は、共通仕様書第1編 1章 第4節 1. 4. 1 (b) の品質および性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、共通仕様書に規定される製作図、試験成績書は除く。
2 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
③ 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
④ 工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署、その他の関係機関への諸手続き等に要する費用は、請負者の負担とする。
⑤ 足場・さん橋類	別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。
⑥ 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 ただし設置条件は、構内に作ることが ⊙できる ・できない
⑦ 保険	工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その費用は請負者の負担とする。 建物(施設)引渡しまで請負者は工事目的、工事材料等について火災保険をかけるものとする。
⑧ 被害届等	暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
⑨ 発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの ・無 ・有 ( ) ⊙引渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とする。 ・ (2) 特別管理産業廃棄物 ・有 (PCB使用機器:) PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引き渡す。
⑩ 残土処理	⊙構内指定の場所に敷きならしとする。 ・構外搬出とする。
⑪ 施工計画書	施工計画書は契約後速やかに提出し、製作図、施工図の提出時期を明示する。
⑫ 工事写真	建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂版)の建築設備編」による。また工事着手前に写真撮影計画を提出する。
⑬ 竣工時提出物	別表による。
⑭ 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(建設省住宅局建築指導課) 1997版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に設計用標準水準震度を乗じたものとする。なお設計用水平震度は次による。

設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類 ・ 特定の施設(甲類・乙類) 重要機器・水槽	・ 特定の施設(甲類・乙類) 一般機器・水槽	⊙ 一般の施設(乙類) 重要機器・水槽	⊙ 一般の施設(乙類) 一般機器・水槽
上層階、屋上及び塔屋	2. 0 (2. 0) <2. 0>	1. 5 (2. 0) <1. 5>	1. 5 (2. 0) <1. 5>	1. 0 (1. 5) <1. 0>
中間階	1. 5 (1. 5) <1. 5>	1. 0 (1. 5) <1. 0>	1. 0 (1. 5) <1. 0>	0. 6 (1. 0) <0. 6>
地下階・1階	1. 0 (1. 0) <1. 5>	0. 6 (1. 0) <1. 0>	0. 6 (1. 0) <1. 0>	0. 4 (0. 6) <0. 6>

(注) ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
< >内の数値は水槽類に適用する。

重要機器
⊙配電盤 ・自家発電装置 ・交流無停電装置 ・直流電源装置
・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・
・ ・ ・

上層階の定義は次による。
6階建以下の場合は最上階. 7～9階建の場合は上層2階
10～12階建の場合は上層3階. 13階建て以上の場合は上層4階
(2) 設計用垂直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

項目	特記事項
15 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等仕様に耐えない場合は、監督職員に報告する。
⑯ 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ⊙屋 外 ・屋 内 (露出配管)
⑰ 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1. 2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑱ フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ⊙金属製 ・樹脂製
⑲ フロアベース・フロアプレート	・図面に特記なきものは直付(ビス止め)型とする。 ・砲金製 ⊙アルミ製
⑳ フロアコンセント	フロアコンセントは、直付(ビス止め)型垂直上下式(黄銅製)とする。
㉑ ケーブル埋設票	地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ⊙コンクリート製
㉒ 色彩の決定	監督員と協議のうえ決定する。
㉓ プレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックスおよび機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。
24 プレートの塗装	ブルボックス等のプレートおよび函体で露出するものは、焼付塗装とし化粧ビス止めとする。
㉕ 施工管理	建設大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事監理指針」(平成16年版)による自主施工管理に努めること。
㉖ 施工	施工は全て設計図書に示された設備が、機能を完全に発揮するように誠実に行うこと。
27 参考図書	
㉘ 非常用照明装置の照度測定	照度測定 (箇所以上)
㉙ 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
㉚ 配線器具	タンブラスイッチは連用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。
31 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。
㉜ 複合防災盤	盤および組込機器は一体形製作とし、その機能保証はすべて盤製作メーカーとする。 非常放送を有するときは、非常放送中における自動火災報知設備の地区音響装置の鳴動停止機能を付加すること。 電源は非常用と一般用の2系統とし、降圧トランスおよびバッテリー等原則として別々に設置する。
㉝ 機器収容箱(総合盤)	・函体および扉の鋼板厚は1. 6mm以上とし、鳴動用穴は直接扉に明けたものとする。 ・標準形 (ただし鳴動用穴は直接扉に明けたもの)
㉞ 施工体制台帳	工事の下請金額の総額が、建築一式工事にあっては4、500万円以上のもの、建築一式工事以外の建設工事にあっては3、000万円以上のものについて、施工体制台帳(下請契約台帳、再下請契約届出書及び施工体系図)を整備すること。
㉟ 調査依頼	本工事について、公共工事労務費調査、資材調査及び建設副産物実態調査等県から依頼があった場合はこれに協力すること。
36 工事カルテ作成登録	(1) 請負金額が2、500万円以上の場合の請負者は、工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に提出し承諾を受けなければならない。 (2) 承諾を受けた後に、(財) 日本建築情報総合センターにフロッピーディスクにより提出すると共に、同センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出し、登録結果を報告する。 (3) 「工事カルテ受領書」の提出期限は下記による。 ア 受注時登録データーの提出期限は、契約締結後10日以内とする。 イ 完了時登録データーの提出期限は、工事完成後10日以内とする。 ウ なお、施工中に、受注時登録データーの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データーを提出しなければならない。
㊲ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
㊳ 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。

3 機 器 取 付 高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高 (mm)
共通	取引用計器	地上～上端	2, 000
	引込開閉器	床上～上端	1, 800
	警報盤	床上～中心	1, 500
電灯	分電盤	床上～中心	1, 500 (上端1, 900以下)
	タンブラスイッチ	〃	1, 300
	〃 (身障者用)	〃	1, 100
	コンセント (一般)	〃	300
	〃 (和室)	〃	150
	〃 (便所等)	〃	500
	〃 (台上)	台上～中心	150
	ブラケット (一般)	床上～中心	2, 100
	〃 (踊場)	〃	2, 500
	〃 (鏡上)	鏡端～中心	150
	避難口誘導灯	床上～下端	1, 500以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1, 000以下
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1, 500 (上端1, 900以下)
	手元開閉器	〃	1, 500
	操作スイッチ 押ボタン	〃	1, 300
電話	室内端子盤 (廊下・室内)	床上～下端	300
	中間端子盤 (EPS・電気室)	床上～中心	1, 500
	集合保安器箱	〃	(天井高) ×0. 9
	壁付アウトレットボックス (一般)	〃	300
	〃 (和室)	〃	150

	名 称	測 点	取付高 (mm)
時計・拡声	壁掛形親時計	床上～中心	1, 500 (上端1, 900以下)
	子時計	〃	(天井高) ×0. 9
	壁掛形スピーカー	〃	(天井高) ×0. 9
	アッテネーター	〃	1, 300
表示	表示盤	床上～中心	(天井高) ×0. 9
	壁付発信器	〃	1, 300
	ベル	〃	(天井高) ×0. 9
	ブザー	〃	(天井高) ×0. 9
	押ボタン	〃	1, 300
	〃 (身障者用押釦)	〃	900
	身障者用表示灯	〃	1, 800
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1, 500
	〃 (身障者用)	〃	1, 100
	壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)		
	〃 (一般)	〃	300
	〃 (和室)	〃	150
テレビ共同受信	機器収容箱	床上～中心	(天井高) ×0. 9
	アウトレット		
	〃 (一般)	〃	300
	〃 (和室)	〃	150
火災報知	受信機	床上～操作部	800～1, 500
	副受信機	〃	800～1, 500
	機器収容箱	床上～中心	800～1, 500
	発信器	〃	800～1, 500
	ベル	〃	(天井高) ×0. 9
	消火栓表示灯	〃	(天井高) ×0. 8

4 ハンドホール

外構図参照。

2 ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は建設省仕様に準ずるものとする。

・	ハンドホール No. −	1、500×1、500×1、500D 底部 GL−1、740以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. −	1、200×1、200×1、500D 底部 GL−1、700以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (アルミ梯子付)
⊙	ハンドホール No. −	1、200×1、200×1、300D 底部 GL−1、490以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. −	1、000×1、000×1、400D 底部 GL−1、600以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. −	1、000×1、000×1、100D 底部 GL−1、300以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. −	1、000×1、000× 900D 底部 GL−1、060以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. −	900× 900×1、400D 底部 GL−1、560以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (アルミ梯子付)
⊙	ハンドホール No. −	900× 900×1、100D 底部 GL−1、260以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. −	900× 900× 900D 底部 GL−1、060以上 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (既製足場付)
・	ハンドホール No. −	600× 600× 680D 蓋 WPM−60A (Eマーク入) (既製足場付)

5 接 地 極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

⊙	A種 接 地	銅板1. 5t×900×900 補助接地棒(連結式10φ×1、500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
⊙	B種 接 地	銅板1. 5t×600×600 補助接地棒(連結式10φ×1、500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
・	C種 接 地	銅板1. 5t×300×300 補助接地棒(連結式10φ×1、500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ1. 5m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
⊙	D種 接 地	接地棒(10φ×1、500) リード端子付 打ち込み式 埋設標(黄銅製又はステンレス製)

(別表) しゅん工時提出物 (・に〇印のついたものを提出する。)

個別提出物	一括提出物
1 完成図 ・原図(A1版 鉛筆書き ケース入り) ⊙陽画(A1 2つ折り製本 1部) ・マイクロフィルム (アパーチュアカード貼付 台紙は黄色) 2 設計図 ・マイクロフィルム (アパーチュアカード貼付 台紙は青色) 3 引渡書 4 納入品 ⊙予備品 ・ハンドホールフック、ジャッキ ⊙盤類の鍵 ・	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録 (打合せ簿、日誌) 9 機器試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 納入品一覧表 13 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し) 14 保全に関する説明書(取扱い説明書も含む)

特 記 事 項	工 事 名 称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検 図	製 図
	平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	特記仕様書	FREE ※A3は71%縮小	2008. 09. 26		

株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369

管 理 番 号
SHEET NO E —— 001

分電盤名称・形式	電気方式幹線	主幹及び回路構成	回路・幹線記号	分岐遮断器AT	容量（VA）（W）	負荷名称
L－1	1φ3W 200V/100V CVT60°	ELB 3P 100／100 (中性線欠相保護付)				
			A	MCB20A		火災報知器
			B	MCB20A		非常警報
			C	MCB20A		誘導灯
			D	〃		非常灯
			1	〃		女子WCパネルヒーター
			2	〃		多目的WCパネルヒーター
			3	〃		男子WCパネルヒーター
			4	〃		調理室 コンセント
			5	MCB20A	1500	IH調理器 200Vコンセント
			6	〃	1500	IH調理器 200Vコンセント
			7	〃	1500	IH調理器 200Vコンセント
			8	〃	1500	IH調理器 200Vコンセント
			9	〃	3000	電気コンベクションオーブン 200Vコンセント
			1	〃		トレーニングルームABC照明
			2	〃		トイレ・調理室照明
			3	〃		玄関・ホール照明
			4	〃		ポーチ・外壁照明
			1	〃		トレーニングルームB・C コンセント
			2	〃		トレーニングルームA コンセント
			3	〃		玄関ホール コンセント
			4	〃		控 室 コンセント
			5	〃		外部物置 コンセント
			6	〃		屋 外 コンセント
			7	〃		女子WC コンセント
			8	〃		多目的WC コンセント
			9	〃		男子WC コンセント
			10	〃		調理室 コンセント
			11	〃		エアコン コンセント
			12	〃		調理室 コンセント
			13	〃		調理室 コンセント
			14	〃		調理室 コンセント
			15	〃		調理室 コンセント
			16	〃		調理室 コンセント
						予 備
						予 備
						予 備
						予 備
						予 備

記号	器具
A1	FHF32W×2V形器具
B	FHP23W×2埋込器具バッフル
C	FHF32W×2埋込ソフトライトM
D1	FHT16W蛍光灯ダウンライト
D2	FHT32W蛍光灯ダウンライト
E	ミニランプ40W形2灯ミラー灯
F	ミニクリプトン40Wブラケット 防雨型 センサー付
G	
H	FLD13W*1 防雨型
I	LED ダウンライト
J	ミニクリプトン60W×1 ダウンライト（センサー付）
a	JB13×1埋込非常灯電池内蔵
b	CF135×1避難口誘導灯電池内蔵片面

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図
	平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	盤図・姿図	FREE ※A3は71%縮小	2008.09.25		

株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369

管理番号
SHEET NO E —— 002

外構平面図　1：100

―・― 敷地境界線を示す

桝リスト

桝　NO	ＢＭより 地盤高(mm)	ＢＭより 放流管底(mm)	桝（Ｈ）(MM)	桝記号　（型状）	種　類	塩ビ蓋	防護ハット	備　考
NO-1	0	-500	500	UTK 100X100-150	起点トラップ	○		
NO-2	0	-610	580 610	45YS 100-150	30段差合流	○		
NO-3	0	-630	630	UT 100X100-150	合流トラップ	○		
NO-4	0	-680	650 680	45YS 100-150	30段差合流	○		
NO-5	0	-790	790	ST 100-150	ストレート	○		
NO-6	0	-950 -1280	950 1280	DR 100-150	ドロップ		○	
公共桝	0	-1300	1300	45WYG150P-100-200	公共汚水桝		○	

凡　例

記　号	名　称	仕　様　・　規　格
――-――	給水管（屋外埋設）	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　JIS K 6742　埋設深度　800H
――-――	給水管（屋　内）	水道用硬質塩ビライニング鋼管　JWWA K 116　SGP-VB
――I――	給湯管（送り）	水道用耐熱性硬質塩ビライニング鋼管　JWWA K 140　SGP-HVA
――――	排水管（屋外）	硬質塩化ビニル管　JIS K 6741　屋外第一桝以降（ＶＵ）
――――	排水管（屋内）	硬質塩化ビニル管　JIS K 6741　屋内～屋外第一桝まで（ＶＰ）
-------	通　気　管	硬質塩化ビニル管　JIS K 6741
――G――	ガ　ス　管	配管用炭素鋼鋼管（白管）
	仕　切　弁	JIS 10K
⊗	不凍水抜栓	400L　(BOX共)
⊗	電動不凍水抜栓	400L　(BOX共)　電動水抜栓　操作盤　配線は工事電気
	水　栓　類	寒冷地仕様
	散　水　栓	寒冷地仕様　自動接手付　(BOX共)
	ガス栓,ガスコック	
	床上掃除口	COA
	通気金物	VE
○	塩ビ製小口径汚水桝	主管径 φ100　桝径 φ150
	水　栓　類	寒冷地仕様
――I――	ドレン管	硬質塩化ビニル管
――II――	冷　媒　管	断熱被覆銅管
	丸ダクト	スパイラルダクト　（厨房、多湿箇所はＶＰダクト）

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	外構配管図・凡例・桝リスト	1:100 ※A3は71%縮小	2008.09.25			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO M ―― 001

図面ファイル名：M001設備外構図no-2　最終保存日時：2008/09/25 13:43:04　プリンタ出力 2008.9.26

機器表

記号	機械名称	台数	仕様	設置場所	参考品番	付帯工事
FF-1	FF式暖房機	3	FF式暖房機　暖房能力 2.63KW-7.41KW　燃料消費量 0.294-0.828L/h　薄形給排気筒　保護ｶﾞｰﾄﾞ	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑA･C.調理室	FF-7000S	
FF-2	FF式暖房機	1	FF式暖房機　暖房能力 2.63KW-5.81KWKW　燃料消費量 0.294-0.649L/h　薄形給排気筒　保護ｶﾞｰﾄﾞ	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ2	FF-5000S	
VF-1	標準換気扇	4	壁形換気扇　690CM/H　19.5W　100V　SUSｳｴｻﾞｶﾊﾞｰ防鳥網付　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑA･B･C.調理室	EX-25EK5-C　P-25CVS4　W-252	
VF-4	ﾊﾟｲﾌﾟ用換気扇	5	壁形換気扇　24時間用　325CMH　35W　100v　SUS深形ﾌｰﾄﾞ　ｷﾞｬﾗﾘ付　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑA.調理室 男子、女子トイレ　多目的トイレ	VD-18Z7　P-18VS3	
	給　気	4	室内ﾚｼﾞｽﾀｰ建築支給・設備取付	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑABC調理室控え室	P-13VS3	
PH-1	パネルヒーター	2	壁掛形　863kcal/h　単相100V　1,000W	男子、女子トイレ	EP-45T 1000S	
PH-2	パネルヒーター	1	壁掛形　431kcal/h　単相100V　500W	多目的トイレ	EP-45T 500S	
WHO-1	石油給湯機	1	床置形　燃料消費量 4.1L/h　能力 36.0KW　出湯量 水温+40度 13L/min　単相100V　125W（ﾋｰﾀｰ作動時）　ﾘﾓｺﾝ　据置架台共	屋外	OQB-307YS・KD-5	
OT-1	オイルタンク	1	屋外据置式　198ﾘｯﾀｰ　灯油用　溶解亜鉛ﾒｯｷ鋼板　ｷｬｯﾌﾟ固定ｶﾊﾞｰ　小出し専用ﾊﾞﾙﾌﾞｾｯﾄ　ﾊﾞﾙﾌﾞｶﾊﾞｰ	屋外	OT-200CVK	基礎150H別途

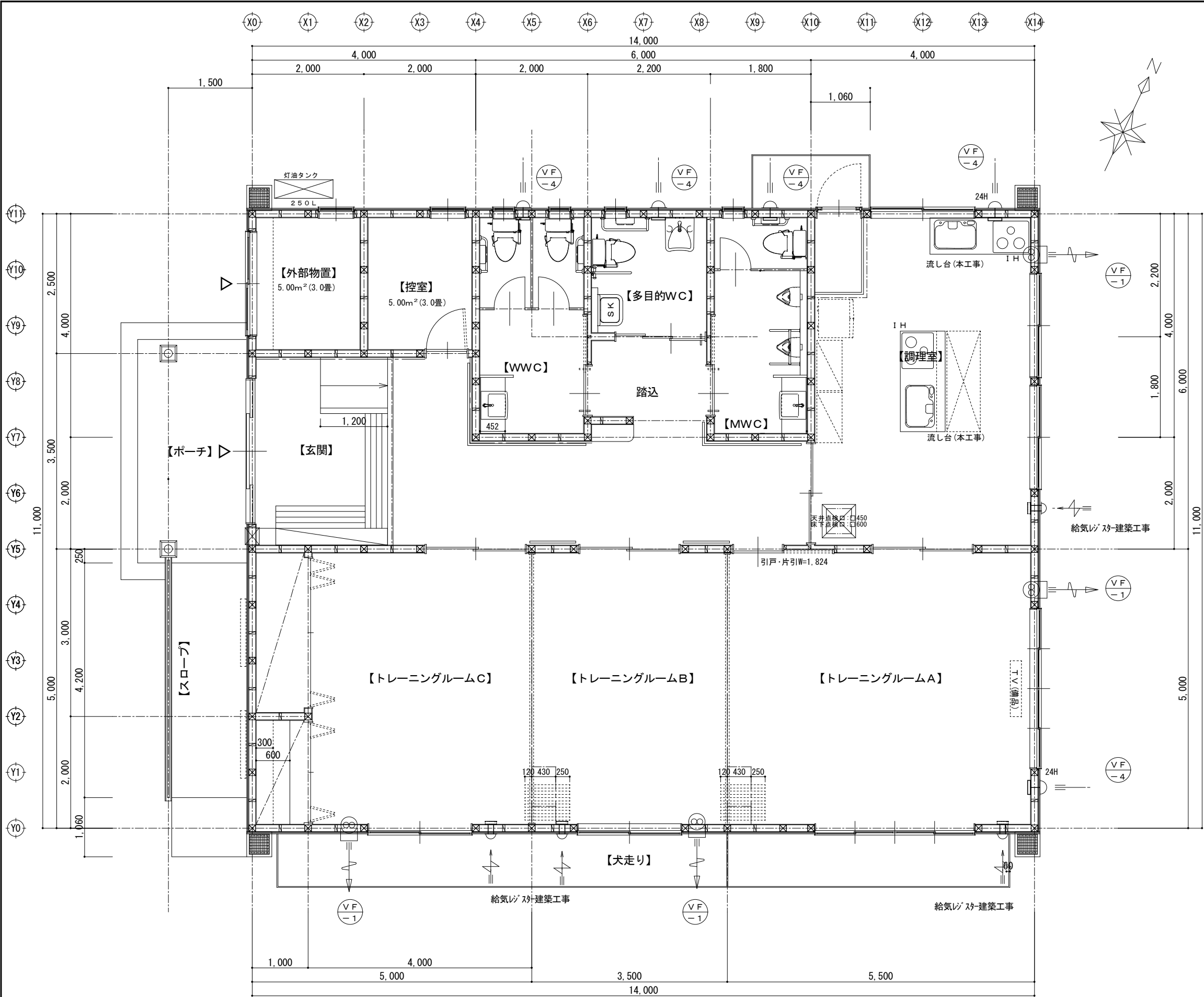
器具表

名称	品番（参考品番）	付属等（参考品番）	男子トイレ	女子トイレ	屋外	調理室	多目的トイレ	合計	備考
洋風便器	CS670B	SS670BFBL　TCF220　YH60M　暖房便座	2	2				4	
洋風便器（車椅子対応便器）	CS20AB	SS308BA　TCF220　YH60M　暖房便座					1	1	
小便器	UFH507C	TEA62ADFRX	2					2	
ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ洗面器	L103A	TG600PFNOK　T9R					1	1	
ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ、洗面器	ML45C1000M1X1　LM350CM	立水栓Sﾄﾗｯﾌﾟ、固定用ﾌﾞﾗｹｯﾄ	1	1				2	L=1.0
ｲﾝﾃﾘｱﾊﾞｰ	TS134LCY8S	木ビス	2	2			1	5	
ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ用手摺（樹脂被服）	T112CU2	小便器用	1					1	
跳ね上げ手摺	TS138H8R	木ビス					1	1	
化粧鏡	TS119FR13	608-760	1	1				2	
傾斜化粧鏡	LM531	照明付き					1	1	
甲板（ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄ）	ML95　ｵﾆｯｸｽ･ﾌﾚｽｺ	小便ﾗｲﾆﾝｸﾞ用L=1.86	1					1	L=1.86
甲板（ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄ）	ML95　ｵﾆｯｸｽ･ﾌﾚｽｺ	掃除流し用　L=0.8　右側端面加工品		1				1	L=0.8
調理室　流し台別途									

調理室器具表

名称	品番（参考品番）	付属等（参考品番）	大きさ			調理実習室
ｽﾃﾝﾚｽｶﾝｳﾀｰﾄｯﾌﾟ ｾﾝﾀｰﾎﾟｹｯﾄ	TIKYZ180A1LZL A1L	ｼﾙｸｴﾝﾎﾞｽ　S=L450.39H=R450	1800 800	650 540	10 180	1 1
ｴﾝﾄﾞﾊﾟﾈﾙ ｼﾝｸ用ﾌﾛｱｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	YEZPKS095W350 YUJE5DE090W350	ｷｯﾁﾝﾖｳ ﾄﾞｱ･ﾎﾟｹｯﾄ･ｲﾝﾅｰｽﾄｯｶｰ付	18 900	655 640	905 828	1 1
加熱機器用ﾌﾛｱｷｬﾋﾞﾈｯﾄ 人大ｶｳﾝﾀｰﾄｯﾌﾟ	YUIJG5RF090350R TDEYZ180A1RZR	IH用ﾀﾞﾌﾞﾙｽﾄｯｶｰ・ｼﾙﾊﾞｰ ｿﾌﾄｸﾞﾚｰ	900 1870	640 970	828 40	1 1
ｾﾝﾀｰﾎﾟｹｯﾄ ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ	A1R YZHPIA086W350	 ﾃｰﾌﾞﾙﾀｲﾌﾟ用	800 18	540 685	180 810	1 1
加熱機器用ﾌﾛｱｷｬﾋﾞﾈｯﾄ ｼﾝｸ用ﾌﾛｱｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	YUJG5RV090W350 YUJE5DE090W350	IH用ﾀﾞﾌﾞﾙｽﾄｯｶｰ・ｼﾙﾊﾞｰ ﾄﾞｱ･ﾎﾟｹｯﾄ･ｲﾝﾅｰｽﾄｯｶｰ付	900 900	640 640	828 828	1 1
裏面用ﾊﾟﾈﾙ 支持金物	YZEP1A086W350 BTHK180	ﾃｰﾌﾞﾙﾀｲﾌﾟ用 ﾃｰﾌﾞﾙﾀｲﾌﾟ用	18 40	685 900	810 860	1 1
ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ水栓 2口IH+ﾗｼﾞｴﾝﾄﾋｰﾀｰ	TKG31UPV50Z CHDS6BSW	 60両面・ｼﾙﾊﾞｰ	 599	 563	 230	1 1
2口IH+ﾗｼﾞｴﾝﾄﾋｰﾀｰ ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ水栓	CHDS6BSW TKG31UPV50Z	60両面・ｼﾙﾊﾞｰ	599	563	230	1 1
ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ	KWPAWBF180M KWPAWB260W	ﾌﾟﾚｰﾝﾎﾜｲﾄ ﾌﾟﾚｰﾝﾎﾜｲﾄ				2 1
見切り材 接着剤ｾｯﾄ	KWS3BS KWSSN	ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ用				2 1
ｺｰｷﾝｸﾞ材ｾｯﾄ	KWSCW	ﾎﾜｲﾄ				1
搬入施工費						2

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度　地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	機　器　表	※A3は71%縮小	2008.09.27			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録（上伊）E第8Z081号 一級建築士登録　第204029号 管理建築士　有賀　修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367　FAX 0265(72)7369	SHEET NO M —— 002

以降別図参照
以降別図参照
外水道角型L＝1.5
万能ホーム水栓
外流し（別途）
灯油タンク
198L
水抜き栓20AL=0.6
水抜き栓20AL=0.6
水抜き栓20AL=0.6
水抜栓15A L=0.6
100VU
20HI
【外部物置】
5.00m²(3.0畳)
【控室】
5.00m²(3.0畳)
【多目的WC】
【WWC】
【MWC】
【調理室】
流し台(本工事)
【ポーチ】
【玄関】
【スロープ】
天井点検口 □450
床下点検口 □600
引戸・片引W=1,824
【トレーニングルームC】
【トレーニングルームB】
【トレーニングルームA】
【犬走り】
特記事項
工事名称
平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE
衛生設備平面図
SCALE
1:50
※A3は71%縮小
DATE
2008.09.26
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO
M —— 003

《換気設備凡例》
天井扇
壁扇＋外部アルミフード(防虫網付)
外部側：アルミフード(防虫網付)
内部側：プッシュ式レジスターφ100(防虫網付)
DAIKEN DK100MPS2-WAS(新ホワイト)
給気
排気
換気種別の換気区画
灯油タンク
250L
【外部物置】
5.00m²(3.0畳)
【控室】
5.00m²(3.0畳)
【多目的WC】
【WWC】
踏込
【MWC】
【調理室】
流し台(本工事)
【ポーチ】
【玄関】
【スロープ】
天井点検口：□450
床下点検口：□600
引戸・片引W=1,824
給気ﾚｼﾞｽﾀｰ建築工事
【トレーニングルームC】
【トレーニングルームB】
【トレーニングルームA】
TV(備品)
【犬走り】
特記事項
工事名称
平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業
三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事
DRAWING TITLE
換気設備平面図
SCALE
1:50
※A3は71%縮小
DATE
2008.09.27
検図
製図
株式会社 泉設計事務所
一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号
一級建築士登録 第204029号
管理建築士 有賀 修司
長野県上伊那郡南箕輪村5925-1
TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369
管理番号
SHEET NO
M — 004
最終保存日時： 2008/09/27 11:25:58
プリンタ出力 2008.9.27

特記事項	工事名称	DRAWING TITLE	SCALE	DATE	検図	製図			管理番号
	平成20年度 地域介護・福祉空間整備事業 三日町上町地区高齢者支えあい拠点建設工事	暖房設備平面図	1:50 ※A3は71%縮小	2008.09.26			株式会社 泉設計事務所	一級建築士事務所登録(上伊)E第8Z081号 一級建築士登録 第204029号 管理建築士 有賀 修司 長野県上伊那郡南箕輪村5925-1 TEL 0265(72)7367 FAX 0265(72)7369	SHEET NO M —— 005

図面ファイル名：M005三日町暖房設備no-2
最終保存日時： 2008/09/26 11:42:35
プリンタ出力 2008.9.26